

阿武郡報

大正四年七月十五日
第八號

次 目

- 郡訓令、告示
- 官公衙事故
- 地方行政
 - 郡吏員異動
 - 町村吏員異動
 - 小學校教員異動
 - 神職異動
 - 町村長召集
 - 神職召集
 - 阿武郡神職會
 - 斯民大會出品物
 - 地方改良講演會
 - 御大典ヲ因ニ私ヲ營ムモノ、取締
 - 地方貸付資金ノ供給
 - 神社昇格運動
 - 條例許可
 - 見島村共同負債償還ノ經過概略
 - 大正四年度各町村歲入出豫算
 - 基本財産調査表
 - 前期縣稅成績
 - 郡設看護婦講習會
 - 傳染病患者調
 - 阿武郡教育會主催夏季講習會及教育品展覽
 - 小學校兒童出席狀況
 - 小學校兒童實力調査
 - 壯丁教育狀況
 - 徵兵檢査終了
 - 壯丁常識考査
 - 海軍兵入團軍隊慰問
 - 招魂祭
 - 帝國在郷軍人會阿武郡聯合分會創立
- 衛生
 - 信用組合狀況累年比較表
 - 縣下ニ於ケル阿武郡內產業組合ノ地位
 - 夏蜜柑風雪害調査
 - 麥用堆肥製造量及改良堆肥場
 - 紫雲英收量試驗成績
 - 春蠶收繭豫想
 - 麥收穫高豫想
 - 春蠶繭共同販賣狀況
- 教育
 - 信用組合狀況累年比較表
 - 縣下ニ於ケル阿武郡內產業組合ノ地位
 - 夏蜜柑風雪害調査
 - 麥用堆肥製造量及改良堆肥場
 - 紫雲英收量試驗成績
 - 春蠶收繭豫想
 - 麥收穫高豫想
 - 春蠶繭共同販賣狀況
- 業
- 產

自治の歌

一 山は霞に遠くして
 平和の天地は暖に
 過去の歴史は幾千歳
 過去の遺徳を受嗣ぎて
 隣保たかひに團結し
 おのが力に治めつゝ
 三 まへに祖先の歴史あり
 われ等の郷土を愛するは
 自治の上諭を身にしめて

岡に鎮守の森青し
 無名の英雄はぐゞみて
 今のわれ等に傳へたり
 更に子孫の世を思ひ
 わか村わか町わか都市を
 自治の上諭に副ひまつれ
 のちに子孫の未來あり
 日本を愛する心なり
 國家の富強をいさ圖れ

(東京音楽學校教授 吉九一昌作)

阿武郡報

郡訓令、告示

阿武郡訓令第一四號

町村役場

明治三十七年三月庶第四号訓令郡會議員選舉取扱手續中左ノ通改正ス

大正四年四月三十日

阿武郡長 楨 俊 治

第一條 選舉人名簿、投票函、點數簿ハ縣會議員選舉ノ例ニ準ス

第三條 削除

第七條ニ左ノ一項ヲ追加ス

選舉會場ノ標札ハ第一號様式ニ依リ之レヲ門戸ニ掲クヘシ

第九條 町村長ハ其ノ選舉區内ヨリ三名ノ選舉立會人ヲ選任シ選舉ノ期日ヨリ少クモ二日前ニ之ヲ本人ニ

告知シ選舉當日開會時刻前ニ參會セシムヘシ

第十一條 投票用紙ハ第二號様式ニ依ル

第十三條 第二項ヲ左ノ如ク改ム

投票簿ハ第三号様式ニ依ル

第十九條 第二項削除

第二十三條 選舉録ハ第四號様式ニ依ル

第二十四條 選舉會場ニハ開閉ヲ報スル符號其ノ他必要ナル事項ヲ揭示スヘシ

第二十六條 削除

第一號様式

阿武郡會議員何々町村選舉會場

(阿武郡會議員何々町村選舉會何所分會場)

第二號様式

投票用紙

(用紙西ノ内十二切)

山口縣何 郡會議員 選舉投票 用紙	町村役 場之印	被選 舉人 氏名	何
			某

備考
 增員選舉、補闕選舉ノ投票用紙ハ上欄議員ノ次ニ
 增員又ハ補闕ノ二字ヲ加ヘ增員選舉ノ投票用紙ハ
 朱摺トス

第三號様式 投票簿 (用紙半紙)

選舉人名簿番號	氏名
一	何 某印
二	何 某印

備考
 投票簿ハ選舉人名簿ノ番號順序ニ依ラヌ便宜イロ
 ハ順ト爲スモ妨ケナシ

大正何年何月何日選舉會執行

第四號様式 選舉錄 (用紙美濃紙)
 何町(村)何郡會議員定期改選(又ハ增員選舉、補闕
 選舉)選舉會選舉錄

六選舉立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前第何時何
 々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ定數ヲ闕キ
 タルニ依リ町(村)長(又ハ選舉ヲ管理スル町(村)長)
 ハ臨時ニ選舉人中ヨリ午前第何時左ノ者ヲ選舉立會
 人ニ選任シタリ

住所 氏名
 七選舉人ハ自ラ投票ヲ認メ之ヲ投票函ニ投入シタリ
 八左ノ選舉人ハ選舉人名簿ニ登錄ナキモ之ニ登錄セテ
 ルヘキ確定裁決書(又ハ判決書)ヲ所持シタルニ依リ
 之ヲシテ投票セシメタリ

住所 氏名
 九左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ依リ選舉立會人ノ議決(又ハ
 選舉立會人可否同數ナルカ爲選舉長ノ決定)ニ
 基キ其ノ投票ヲ拒否シタリ

住所 氏名
 十左ノ選舉人ハ誤テ投票用紙ヲ汚損シタル旨ヲ以テ更
 ニ之ヲ請求シタルニ依リ其ノ相違ナキヲ認メ之ト引
 換ニ投票用紙ヲ交付シタリ

住所 氏名
 十一午後第何時ニ至リ選舉長ハ投票時間ヲ終リタル由

一何郡會議員定期改選(又ハ增員選舉、補闕選舉)ノ選
 舉會ハ何町(村)役場(又ハ何ノ場所)ニ之ヲ設ケタリ
 二左ノ選舉立會人ハ孰レモ投票時刻マテニ選舉會場ニ
 參會シタリ

住所 氏名
 住所 氏名
 投票時刻ニ至リ選舉立會人中氏名參會セサルニ依リ
 町(村)長(又ハ選舉ヲ管理スル町(村)長)ハ臨時ニ選
 舉人中ヨリ左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住所 氏名
 三選舉會ハ大正何年何月何日午前第何時ニ之ヲ開キタ
 リ
 四選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ニ先チ選舉會場ニ參
 集シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛
 ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖シ選舉長及選舉立會
 人ノ列席スル面前ニ之ヲ置キタリ

五選舉長及選舉立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲシテ逐次
 其ノ住所氏名ヲ自稱セシメ選舉人名簿ニ對照シ且投
 票簿ニ捺印セシメタル後(到着番號札ト引換ニ)投票
 用紙ヲ交付シタリ

告知選舉立會人ト共ニ投票函ノ投票口ヲ鎖シタリ
 十二何選舉分會ノ投票函ハ管理者職氏名及選舉立會人
 氏名携帶シ午後第何時到着之ヲ檢スルニ異狀ナシ
 十三午後第何時選舉長ハ開票ヲ行フ由告知選舉立會
 人立會ノ上投票函ヲ開キ(又ハ本會及選舉分會ノ投
 票函ヲ開キ)投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算シ
 タルニ左ノ如シ

投票總數 何 票
 投票人總數 何 人
 投票總數ト投票人總數ト符合セリ
 投票總數ト投票人總數ト符合セス即チ投票總數ハ投
 票人總數ニ比シ何票多ク又ハ少シ(其ノ理由明カナ
 ルモノハ之ヲ記載スヘシ)

十四選舉長ハ(本會及選舉分會ノ投票ヲ混同シ)選舉立
 會人ト共ニ投票ヲ點檢シ每票記載ノ氏名ヲ朗讀シタ
 リ(又ハ選舉事務ニ從事スル職氏名ヲシテ每票記載
 ノ氏名ヲ朗讀セシメタリ)

十五選舉事務ニ從事スル職氏名及職氏名ノ二名ハ投票
 記載ノ氏名ノ朗讀ニ應シ各別ニ同一被選舉人ノ得票
 ヲ點數簿ニ記入シタリ

十六郡制第十七條ノ手續ヲ經テ有効又ハ無効ト決定シタル投票左ノ如シ
 有効ト決定シタルモノ 何 票
 無効ト決定シタルモノ 何 票

内
 一 成規ノ用紙ヲ用非サルモノ 何 票
 二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ 何 票
 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ 何 票
 内
 文字ノ讀ミ難キモノ 何 票
 何々 何 票
 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ 何 票
 五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ 何 票
 内
 誹毀侮辱ト認ムヘキ文字ヲ記入シタルモノ 何 票
 何々 何 票
 十七午後第何時投票ノ點檢ヲ了リタルヲ以テ選舉長ハ得票者ノ氏名及其ノ得票數ヲ朗讀シタリ
 十八得票者ノ氏名及其ノ得票數左ノ如シ
 何 票 氏 名

何 票 氏 名
 右ノ内有効投票ノ最多數ヲ得タル左ノ何人ヲ以テ當選者トス
 何 票 氏 名

（但シ氏名及氏名ハ得票ノ數相同シキニ依リ其ノ生年月日ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月何日生、氏名ハ何年何月何日生ニシテ氏名年長者ナルヲ以テ則チ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ）（又ハ同年月日ナルヲ以テ選舉長ニ於テ抽籤シタルニ氏名當籤セリ依テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ）
 十九選舉長ハ有効無効ノ決定アリタル投票ヲ大別シ尙有効ノ決定アリタル投票ニ在リテハ得票者毎ニ之ヲ區別シ無効ノ決定アリタル投票ニ在リテハ之ヲ類別シテ各別ニ之ヲ封筒ニ入レ選舉立會人ト共ニ之ニ封印シタリ
 二十午後第何時選舉事務ヲ結了シ選舉會ヲ閉チタリ
 二十一左ノ何人ハ選舉會場ノ事務ニ從事シタリ
 職 氏 名
 職 氏 名

二十二選舉會場ニ臨監シタル官吏左ノ如シ
 職 氏 名
 官 職 氏 名

選舉長ハ此ノ選舉錄ヲ作り之ヲ朗讀シタル上選舉立會人ト共ニ茲ニ署名ス
 大正何年何月何日
 選舉長 何町(村)長 氏 名
 選舉立會人 氏 名

備考
 一 選舉分會ヲ設ケタル場合ニ於ケル分會ノ選舉錄ハ本樣式ニ準スヘシ但シ分會ノ選舉ニ在リテハ投票函ノ儘本會ニ送致スヘキヲ以テ開票ニ關スル事項ハ固ヨリ之ヲ記載スヘカラサルハ勿論ナリトス
 一本樣式ニ掲クル事項ノ外選舉長ニ於テ選舉ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

阿武郡告示第二二號
 大正二年四月阿武郡告示第二十一號山口縣

阿武郡立實科高等女學校補習科規則中左ノ通改正ス
 大正四年五月十日
 阿武郡長 榎 俊 治

第三條 學科目中國語ノ下ニ「數學」裁縫ノ下ニ「唱歌、實業、體操」ヲ加フ
 第四條 學科程度及每週教授時數表ヲ左ノ通改ム

學科目	每週教授時數	學 科 程 度
修身	二	人倫道德ノ要旨、作法
國語	六	講讀、作文、文法ノ大要、習字
數學	一	算術復習、幾何初步、珠算
家事	二	衣食住ニ關スル家事及割烹實習、養老育兒、看病、整理、經濟、家計簿記等
裁縫	一	普通裁縫、ミシン使用法、編物、小細工
唱歌	一	唱歌練習
實業	一	園藝、養蠶
體操	一	普通體操、遊戲
教育	二	教育原理、教授訓練管理ノ大要
合計	三四	

第六條 修了證書様式末尾學校長ノ下ニ「位勳」ヲ加フ
阿武郡告示第二十二号

大正二年四月告示第十五号郡職員旅費規程
中左ノ通り追加シ大正四年六月ヨリ施行ス

大正四年六月七日

阿武郡長 檜 俊 治

一別表普通旅費及日額旅費中種別ノ欄産業技手ノ次ニ
左ノ通り追加ス

囑託技術員

官公衙事故

郡吏員異動

新任月日	校名	職名	俸給	氏名
五月廿一日	郡會計吏	月俸拾四圓	勳七等功七級宗樂幸穂	
全	郡雇月俸壹圓	勳七等功七級宗樂幸穂		
全	郡雇月俸拾貳圓	大田健太郎		
六月六日	農業技術員囑託	池田		

退官ノ部

退官月日	郡名	職名	氏名
五月十八日	郡會計吏	論旨	岡田與三
六月九日	郡農業技手	自己ノ便宜	岡田與三
		病氣	上符顯一

町村吏員異動

認可年月日	町村名	職名	氏名
五月三日	嘉年村	助役	安田玲介
五月七日	福川村	村長	佐伯庄吉
五月廿五日	全	助役	清水貞七
六月四日	全	収入役	宮川源藏
六月十一日	高俣村	助役	櫛部顯价

退職月日	退職事由	町村名	職名	氏名
四月二日	満了	嘉年村	助役	奥田小彌太
五月十一日	村長トナル	福川村	助役	佐伯庄吉
六月七日	助役トナル	全	収入役	清水貞七
六月十八日	満了	高俣村	助役	藏田濫助

小學校教職員異動

新任月日	校名	職名	俸給	氏名
五月七日	吉部	准訓導心得月俸壹圓	種子信三郎	
五月十八日	彌富	准訓導心得月俸八圓	青原頼一	
五月廿五日	德佐	訓導	八級下俸	田邊ハル
六月八日	生雲	訓導	十級上俸	羽鳥クメ
六月八日	東	准訓導心得月俸九圓	竹内基雄	

轉任月日	轉任校	舊任校	職名	俸級	氏名
五月二十七日	明倫	佐波郡奉禮	訓導	四級下俸	香川政一
六月八日	育英	育英實業補習	准訓導心得	八圓	岡部シケヨ

增俸月日	校名	職名	增俸	現俸	氏名
四月三日	明倫	訓導	七級下俸	八級上俸	横山出
全	全	全	九級上俸	九級下俸	吉屋園吉
全	全	全	九級下俸	十級上俸	小笠原離代
全	全	全	十級上俸	十級下俸	野上キヨ
全	全	全	七級下俸	八級上俸	井上ハツ
全	全	全	七級上俸	八級上俸	長谷アサ
全	全	全	七級上俸	七級下俸	三宅三郎
全	全	全	十級上俸	十級下俸	落合ウメ

退職月日	退職事由	町村名	職名	氏名	
四月三日	野戸呂	准訓導	八圓	伊藤榮子	
四月三日	篠目	訓導	九級下俸	大方清市	
四月二十七日	全	准訓導	五圓	徳田アキ	
四月二十七日	全	准訓導	四級下俸	永見宜章	
四月二十七日	全	准訓導	八圓	都築ナミコ	
四月二十七日	全	准訓導	九級上俸	高橋八十熊	
四月二十七日	全	准訓導	六級上俸	福谷チヨ	
四月二十七日	全	准訓導	九級上俸	九級下俸	一來テル
四月二十七日	全	准訓導	七級上俸	七級下俸	山内貞助

四月三日	德	佐訓	導	八級上俸	八級下俸	村瀬貫一	四月三日	奈	古訓	導	七級下俸	八級上俸	阿川與一		
全	全	全	全	十級上俸	十級下俸	濱安ソノ	全	全	全	全	六級上俸	六級下俸	岡藤モト		
全	龜山	全	全	九級上俸	九級下俸	佐伯清音	全	全	全	全	九級上俸	九級下俸	小川十郎		
全	嘉年	全	全	八級上俸	八級下俸	澄川瀧藏	全	全	全	全	九級上俸	九級下俸	大藤直人		
全	全	全	全	九級下俸	十級上俸	山崎富傳市	全	全	全	全	七級下俸	八級上俸	金子茂人		
全	高俣	全	全	八級下俸	九級上俸	澄川コト	全	全	全	全	九級上俸	九級下俸	秋枝實冬		
全	全	全	全	九級下俸	十級上俸	淺野悌一	全	全	全	全	八級下俸	九級上俸	齋藤熊之進		
全	吉部	全	全	七級下俸	八級上俸	増原九市	全	全	全	全	多磨訓	導	八級下俸	九級上俸	三浦重一
全	全	全	全	六級上俸	六級下俸	橋清文	全	全	全	全	准訓導	導	四級上俸	四級下俸	堀野益雄
全	全	全	全	四級下俸	五級上俸	山本古道	全	全	全	全	全	全	四級下俸	五級上俸	東貫一
全	全	全	全	五級上俸	五級下俸	山縣ヒデ	全	全	全	全	全	全	八級下俸	九級上俸	堀重信
全	全	全	全	九級上俸	九級下俸	伊藤正雄	全	全	全	全	全	全	九級上俸	九級下俸	齋藤茂八
全	全	全	全	八級下俸	九級上俸	内山芳忠	全	全	全	全	全	全	六級上俸	六級下俸	中村ハル
全	全	全	全	八級上俸	八級下俸	末田今治	全	全	全	全	全	全	圓九	圓九	田中太郎
全	全	全	全	九級下俸	十級上俸	高松ツシ	全	全	全	全	全	全	圓九	圓九	田中秀輔
全	全	全	全	九級上俸	十級下俸	藤山正重	全	全	全	全	全	全	圓九	圓九	田中秀輔
全	全	全	全	九級下俸	十級上俸	伊藤スエ	全	全	全	全	全	全	圓九	圓九	田中秀輔
全	全	全	全	五級上俸	五級下俸	磯部與三郎	全	全	全	全	全	全	圓九	圓九	田中秀輔
全	全	全	全	五級上俸	五級下俸	繩田トシ	全	全	全	全	全	全	圓九	圓九	田中秀輔
全	全	全	全	六級上俸	六級下俸	神代兼次	全	全	全	全	全	全	圓九	圓九	田中秀輔
全	全	全	全	六級上俸	六級下俸	奈古	全	全	全	全	全	全	圓九	圓九	田中秀輔

六月十日 家事上ノ都合 椿 東 訓 導 村田幸子
 六月十日 教員配置上ノ都合 生 雲 全 河内太子一

◎神職異動

五月十七日 補三見村郷社八幡宮社掌 中原 信一
 六月三十日 補全 社司 給參級 中原 龜平

◎地方行政

人民ノ欠典ヲ罰スル勿レ

◎町村長召集

五月廿三日 町村長ヲ召集シ左ノ事項ニ付訓示並注意スル所アリタリ

訓示事項

一、大典奉祝ニ關スル件
 即位ノ禮及大嘗祭ハ本年十一月ヲ以テ行ハセラルコトニ御内定アラセラル
 コノ國家最高ノ大典ヲ奉祝スルニ當リテハ國民齊シク滿腔ノ赤誠ヲ披瀝シ敬虔ノ誠意ヲ捧ケ忠愛ノ至情ヲ

退職月日	退職事由	校名	職名	氏名
五月廿日	家事上ノ都合	育英	准訓導心得	大田健太郎
六月十日	病	氣明	倫訓導	田中秀輔
退職月日	退職事由	校名	職名	氏名
四月廿七日	見	島	准訓導	島
六月十日	明	倫訓	導	八級下俸
六月十日	明	倫訓	導	九級上俸

發露スヘキハ固ヨリ言ヲ俟タス
 謹ミテ按スルニ即位ノ禮ハ 聖上御踐祚ノ後日ヲ定メ儀ヲ整ヘテ萬世一系ノ 皇位ニ即カセラルコトヲ皇祖皇宗ニ親告セラレ竝一般臣民ニ宣誥セラル、ノ大典ニシテ大嘗祭ハ 御即位ノ後始メテ親シク新穀ヲ以テ 皇祖及天神地祇ヲ請饗セラレ且 御自カラモ聞シ食ス所ノ大祀タリ故チ以テ各位モ今ヨリコノ次第チ一般ニ周知徹底セシメ衛生其ノ他諸般ノ施設ニ意ヲ致シ崇高端嚴ナル大典ヲシテ永ヘニ光輝アラシメ大正ノ進運ニ努力セシメラルヘシ

一、大禮ニ付祭禮並紀念事業ニ關スル件
 今般大禮ニ際シ神宮ヲ始メ官國幣社ニ在テハ大嘗祭ノ當日奉幣ノ爲勅使ヲ差遣セラレテ大祭ヲ行ヒ又 御即位禮ノ當日ハ特ニ中祭ヲ行ハレムトス府縣社以下ニ就テモ亦之ニ準シ祭祀ヲ執行スルコトニ定メラル、見込ナリ而シテ是等ノ祭祀タル國民共通ノ公祭タルヲ以テ各位ハ今ヨリ力ヲ之レカ準備ニ效サシメ遺漏ナキヲ期セラルヘク又大禮ヲ永遠ニ記念センカ爲神社ニ於テ適當ノ紀念事業ヲ企ツルハ最モ機宜ニ適シタルノ舉ナリト認ム然レトモ其ノ事業ノ選擇ニ當リテハ十分ナル考

慮ヲ竭サシメラレムコトヲ要ス即チ神社ノ由緒竝社記ノ編纂、財産造成神田ノ設置、神林ノ經營、社殿ノ修造、境内ノ整善、防火設備ノ完成等最モ神社ニ適應セル施設ニ就テ其ノ永久的ナルヲ選ミ之カ計畫ヲ立ツルニ當リテハ用意ヲ周到ニシ長ヘニ此ノ光輝アル大典ヲ紀念セシムル様注意セラレタシ

附 町村ニ於ケル記念事業其他奉祝ニ關スル施設ニ就テハ別紙内閣總理大臣訓示ノ趣旨ヲ体シ專ラ學實ヲ旨トシ地方民力ノ如何ニ鑑ミ濫ニ負擔ノ重キヲ來スカ如キヲ避ケ最モ適切ノ舉ニ出テラレムコトヲ望ム

一、明治神宮御造營ニ關スル件

明治神宮ノ御造營ハ朝野ノ宿望ニシテ政府ハ 聖旨ヲ奉体シ之レカ經營ニ關シ百方苦心ヲ累ネ今正ニ其ノ工ヲ創ムルノ時ニアリ又近ク官制ノ公布アリ而シテ其ノ造營ハ六箇年ニ亘ルノ繼續事業ニシテ大正九年度ニ至リテ竣成ヲ告クヘキ豫定ナリ差當リ神域内樹木ニ關シテ最モ急ヲ要スルモノアリ即チ神域ヲシテ幽邃森嚴ノ風致ヲ得セシメンカ爲メ繁茂ノ望ミアリ且ツ成ルヘク成長セル適當ノ樹木ヲ植付ラルルノ設計ニシテ是等神林ノ造成ニ付テハ團體及有志ノ協心戮力ノ實ヲ表セシ

際シ行政ノ刷新ニ努メラルヘシ

一 青年會ヲ指導誘掖シテ自治行政ノ進展ヲ企圖スル

コト

一 示談會ノ實行ヲナスコト

一 事務ノ敏活ヲ期スルコト

一 町村是ヲ確立スルコト

一 優良町村ヲ視察スルコト

一 事務研究會ヲ起シ法令ノ研鑽ヲナスコト

一 納稅獎勵方法ヲ研究シ皆納ヲ期スルコト

以上ノ外之レヲ列擧スルニハ其ノ數蓋シ少ナシトセサルモ要ハ職守ヲ明ニシ責任ヲ重ムスルニアレハ各位ハ

居常吏員ノ監督ニ意ヲ致サレ吏僚ヲ率井テ忠實其ノ職

ニ盡シ恪勤其ノ業ニ服セシメラルヘシ

一、經濟整理ニ關スル件

町村經濟整理ニ關シテ從來屢々訓示セル所アリシカ今

ヤ軍國ノ經濟尙一層其緊切ヲ感スルコトアリ左記各項

ノ如キハ特別ノ注意ヲ要ス

一 寄附及補助スヘキ事業ハ其ノ町村ノ公益竝ニ緩急ヲ

酌量シ且漸次事業ノ獨立ヲ補助スヘキコト

二 町村基本財産ノ蓄積ノ必要欠クヘカラサルハ今更ニ

カ爲メ普ク國民ノ進献ヲ許容セラル、コトニ決定セルヲ以テ其ノ献木ノ取扱ニ付テハ曩ニ通牒シタリ各位ヨリコノ意ヲ諒セラレ官民協力本事業ノ速ニ完成ヲ期スルニ於テ遺憾ナカラシメラルベシ

一、政弊刷新ニ關スル件

地方自治團體ノ施設經營ニシテ往々一黨一派ノ政爭渦中ニ投セラレ爲ニ公共ノ利益モ犧牲ニ供セラレ醇朴ナル民風モ根底ヨリ破壊セラルノ弊風近時疾出スルハ各位ノ目撃セラル所ナルヘシ

各位ハ地方自治團體ノ主腦者ニシテ一黨一派ノ私心ニ

依リ去就スヘキモノニアラス自治ノ本義ニ願ニ公共ノ

利害ヲ考ヘ住民ノ休戚ヲ究メテ是非ヲ斷定シ政弊ノ外

ニ超脱シテ宿弊ヲ一掃サレシムコトヲ望ム

一、行政刷新ニ關スル件

本郡ノ如キ交通不便ニシテ而モ山間部ニ位スルモノハ自治行政ノ開發民風ノ刷新ハ甚々難シトスル所ナリト雖モ各位ノ眞摯熱心ニヨリ漸次良好ノ成績ヲ收メツ、アリ然レトモ之レヲ他郡市ノ發達ノソレニ比スルニ於テハ甚々遜色ナキヲ保セス左ノ事項ニ留意シ此ノ期ニ

言ヲ俟タサルモ町村百年ノ大計ヲ樹立シ將來ニ於テ

負擔ヲ輕減シ經濟ノ調節ヲ圖ラムトセハ之レカ確立

ヨリ急ナルハナシ既ニ蓄積シツ、アルモノハ更ニ進

ンテ之レカ實行ニ努メ未タ確立ニ至ラサル向ハ速ニ

之レカ蓄積ニ着手スヘシ而シテ之レカ財源ニ關シテ

ハ一定ノ標準ヲ以テ律スルコト能ハサルモ本郡ノ如

キハ下辰林野部落林野等ノ財源ヲ以テ之ニ充ツルハ

策ノ得タルモノナリト信ス

三 町村事業中夫役現品ニヨリ經營サルヘキ種類ノモノ

ニアリテハ可成之レヲ以テシ常時民力ノ休養ヲ圖ル

ヘシ

四 教育ノ事業ニ關シテハ動モスレハ外觀ノミニニ走ル如

キ弊ナキニシモアラス自今一層其施設ヲ質實ニシ專

ラ内容ノ充實ニ努ムヘシ

一、公民教育ニ關スル件

普通教育ヲ完了シタル國民カ忠良ナル立憲國民トシテ

國家竝ニ自治團體ニ對スル責任ヲ自覺シ法制上與ヘテ

レタル公權ヲ尊ヒ公務ヲ重シ其ノ本分ヲ完ウスルハ今

日ニ於ケル國民道德ノ涵養上深ク留意スヘキ要項タル

コトハ今更言ヲ俟タス故ニ郡ニ於テハ之レカ普及發達

ニ關シ相當考究スヘク依テ各位ニ於テモ將來青年會示
談會其ノ他ノ機會ヲ利用セラレ公民ニ關スル智識ノ普
及發達ヲ圖リ以テ憲政自治ニ關スル思想ノ養成ニ努メ
公民教育ニ關シ特ニ留意セラレノコトヲ望ム

一、學校衛生ニ關スル件

小學校兒童ノ身体検査ハ精密ニ其ノ成績ニヨリテ体力
ヲ増進セシムルハ國民教育上緊要ノコトニ屬ス而シテ
郡下町村ニ於テ學校醫ノ設ケアルモノ郡内十六ヶ村ニ
過キス依テ未設ノ村ニ於テハ成ルヘク速カニ適任者ヲ
撰定セラレ又往々已設ノモノニシテ報酬ノ掛薄ナル爲
メ眞ニ有名無實ナルモノアルヤニ聞ク爾今明治三十
一年二月二十六日文部省令第六号學校醫職務規程ニ準シ
其ノ實績ヲ學クル機努メラレタシ

一、軍隊ト地方官民ト連絡ニ關スル件

山東ニ於ケル作戦ハ一部團體ノ活動ニ依リ帝國ノ光榮
ヲ以テ略々軍事上ノ段落ヲ告クルヲ得タリ是固ヨリ
陛下ノ御稜威ト出征將士ノ忠勇ナル行動トニ由ルト雖
國民ノ熱誠ナル後援ニ負フ所多大ナリシテ信ス即チ出
征部隊ニ對スル恤兵品ノ寄贈出征及凱旋途上ニ於ケル
送迎ハ軍隊ノ士氣ヲ鼓舞シ其ノ奮勵ヲ促進スルノ素因

ルニ外ナラス宜シク平素ニ於ケル準備業務ニ遺憾ナカ
ラシメ召集徵發ノ令セラレ、ヤ一層敏活確實ニ業務ヲ
實施シ其ノ實績ヲ學クルコトニ努メラレタシ

一、在郷軍人會ニ關スル件

帝國在郷軍人會ハ在郷ノ陸海軍人ヲ以テ組織セラレ抑
モ在郷軍人ハ我カ國軍組織上最重要ナル地位ヲ占メ
郷ニ在リテハ其ノ職業ニ精勵スル淳朴ノ國民タリ軍ニ
從ヒテハ國軍ノ大部ヲ形成シ國家ノ干城タルヲ以テ本
分トス其ノ本分ヲ盡サシメムカ爲ニハ在郷軍人各其ノ
責任ヲ自覺シ奮勵努力ヲ要スルモ一般官民モ亦舉テ之
ニ協力シ在郷軍人會ノ發達ヲ翼成セサルヘカラス各位
宜シク同會設立ノ趣旨ニ鑑ミ其ノ發展ニ就テ一層助力
セラレタシ

注意事項

一、免囚保護ニ關スル件

出獄人保護ニ關シ勞働紹介所設置ノ件ニ關シ既ニ注意
ヲ促シタルコトアルモ之レガ實行ニ着手セルモノ少キ
ガ如シ速カニ實行セラレヘシ

二、濟生會ニ關スル件

四月濟生會救療規程改正セラレ既ニ其ノ要項ニ關シ注

タリシヤ疑ヲ容レヌ而シテ平時ト雖地方人民ヲシテ國
民皆兵主義ノ精神ヲ了得セシメ軍隊ヲ尊敬愛護スルノ
念ヲ愈深カラシメ行軍演習等ニ際シテハ宿舎ノ供給物
資ノ調達等ノ事ヲ奮テ援助セシメ平戰兩時ヲ通シテ軍
隊ト地方官民トノ融和一致協同連繫ノ實ヲ完ウスルコ
トニ一層努力セラレタシ

一、兵事事務從事吏員ニ關スル件

徵兵召集其他兵事事務ニ干與スル公吏ノ執務狀態ハ逐
年改善進步ノ傾向ヲ認ムルモ關係法規ノ研究充分ナラ
ザル者書類ノ整備不完全ナル者就中新任ノ者ニ對シテ
ハ常ニ充分ナル注意監督ヲ以テ事務ヲ整備セラレ徵兵
召集等ノ場合ニ齟齬遺漏ナキ様留意セラレタシ

一、召集及馬匹徵發事務ニ關スル件

一昨年末陸軍召集令及同細則ノ改正以來召集事務ハ各
位ノ熱誠ナル注意ニ依リ適當ニ整備セラレ昨年充員召
集及臨時召集ノ結果ニ徵スルニ大体ニ於テ圓滿ニ實施
セラレタルヲ認ム然レトモ平素ニ於ケル準備業務ニ缺
陥アルトキハ事務遂行上尠カラサル支障ヲ與フヘシ又
過般馬匹徵發事務細則ノ改正セラレタルハ平時ニ於ケ
ル準備ヲ一層周到ニシ以テ實施ニ當リ確實整齊ヲ期ス

意スル所アリタリト雖モ尙其趣旨ノ貫徹セサルモノア
リ能ク設立ノ趣旨ヲ了得セシメ 聖旨ノ普及徹底ニ努
メ施療ノ恩典ニ浴セシメラレタシ

三、神社財産ニ關スル件

神社ノ財産管理ハ其ノ社司社掌ニアルモ往々氏子崇敬
者惣代ニ於テ管理スルモノアリ右ハ法規ニ背戾スルモ
ノニシテ其ノ責任ノ歸スル處ヲ知ラサルモノト云フヘ
シ又神社ノ基本財産ハモトヨリ其多キヲ望ム所ナレト
之レヲ個人ニ貸付シ回收不可能ナル如キハ尤モ注意
スヘキコトナリ各位ニ於テ神社ノ財産ニ關シテハ特ニ
相當ノ注意ト指導アリタシ

四、神社收支決算ノ件

神社ノ收支決算ハ本月末日ガ其ノ提出期限ニ係ハラズ
從來ノ事例ニ徵スルニ甚タシク期限ノ經過スルモノア
リ是又相當ノ注意アリタシ

五、統計ニ關スル件

本縣ノ人口統計ニ關スル成績ハ全國中最下位ニアレ
本郡ハ比較的良好ノ成績ニアリ各位ハ益々主任ヲ督勵
セラレ統計ノ正確ト敏活ヲ期セラレタシ

六、納稅督勵ノ件

納稅督勵ニ就テハ屢次注意スル處アルモ尙從來ノ成績ニ徵スルニ甚タ遺憾ナル結果ヲ示シ殊ニ本年度前期地租割ノ如キハ前期ニ比シ不成績ヲ呈シタル處ナシトモス今ヤ縣稅各稅ノ徵收期ニ際ス町村當局者ハ層一層奮勵納稅ノ成績ヲ擧ケヲ望ム

七、營業、雜種稅、雜種稅漁業稅、及戶數割等差議定標準設置ノ件

等差議定標準設置認可申請ハ明治三十六年縣令第三十五号ニ依リ設置認可申請セラルヘキ筈ニシテ未ダ認可申請ヲナサ、ル村アルノミナラス既ニ認可ヲ得ラレタル處ト雖モ其實標準簿ヲ設ケ各納稅人ノ標準ノ見ルヘキモノナク議案作成上困難ナルノミナラス訴願其他ニ際會スルモ舉証トスヘキモノナク從來ト殆ト狀態ヲ同シクスルノ感アリ何レモ速ニ相當整理相成ダシ

八、生産調査及實行組合ノ件

未ダ生産調査終了並實行組合設置ノ報告ニ接セサルモノ多シ未了ノ向ハ至急之ヲ遂行シ其ノ顛末ヲ報告セラレタシ

九、官有土地水面無願使用並無願工事取締ニ關スル件

標記ノ件ニ就テハ未ダ充分ナル取締行ハレズ殊ニ町村支辨ノ道路河川堤塘ニ關スルモノニ於テ其ノ憾多シトス一層取締ヲ勵行セラレタシ

一〇、町村土木工事ノ維持修繕ニ關スル件

土木工事ノ新築改築ニ對シテハ多額ノ經費ヲ投シ施行スルニ拘ハラズ之ヲ適當維持修繕ヲナサ、ルモノアリ相當注意ヲ加ヘ完全ニ維持スヘキ計劃セラレタシ

一一、陸地測量標保護ニ關スル件

陸地測量標ガ人爲的毀損ヲ生スルモノアル趣ナルガ一度毀損スルトキハ之レガ復舊ノ爲メ多大ノ經費ト時日ヲ要スルカ故ニ一般ニ對シ測量基点ノ重要ナル所以ヲ周知セシメ保管ヲ完全ニセラレタシ

徵兵受檢者及入退營ニ關スル件

徵兵受檢者及入退營者ニ關スル件ニ付テハ是迄屢次照會訓示セル所アリ各位ノ指導盡力ニ依リ稍圓滿完美ノ域ニ進ミツ、アルモ仍左記各項ニ付テハ今後一層ノ留意ト勵行ヲ望ム尙本年徵兵檢査ノ前後ニ於テ當該官憲ノ注意希望セル事項ハ刻下ノ狀態ニ照シ最モ痛切ヲ感スルヲ以テ各町村ニ於テ相當措置ヲ要スルヤ言ヲ俟タス

徵兵檢査ニ關スル件

一 徵兵受檢者ノ補習教育普及言語動作風紀ノ整美ニ關シテハ各位ノ熱誠ナル盡力指導ニ依リ逐年向上ノ跡見ルヘキモノアルモ仍未ダ十全ナラス就中花柳病、トラホーム疾患者ノ數稍多ク加之檢査後(入營前)ニ於テ其數ヲ増加シ又一二町村壯丁(本年)ハ檢査後青樓高飲流連ヲナセルモノ或ハ途上高聲放吟セルモノ又ハ檢査ニ合格シタルヲ悲觀シ沈憂ノ結果之レヲ他人ニ訴ヘ恬トシテ慚チサルモノ等其ノ跡ヲ絶タサルハ甚遺憾トス惟フニ是等ノ缺陷ヲ防止スルハ主トシテ青年會ヲ督勵指導シ以テ之ガ矯正促進ニ努ムルノ捷徑ナルコトヲ認ム各位宜シク努力セラレタシ

二 受檢者ノ服裝ハ洋服紋服袴又ハ羽織ヲ着セル者等雜多ニシテ就中本年ハ華美ナル絹布ヲ特ニ新調着用セルモノ稍多ク如此ハ不經濟不統一ニ終ルモノナレバ各位臨機誘導シテ綿服羽織帶(角帶)ニ可成一定セシムル様努力セラレタシ

入退營ニ關シ送迎ニ關スル件

一 入營ノ際ニ於ケル送別會又ハ壯行會ハ近年稍質素ニ傾キタルモ未ダ盛ニ錢別ノ贈呈送別會ノ盛宴ヲ張ル

向アリ又退營ニ際シテハ土産物ヲ持歸ル等ノコトアリ是等ノ防止ニ就テハ聯隊區司令官并ニ中隊長ヨリ嚴重指示セラレタルコト一再ナラス而ルニ仍全廢ニ至ラス要スルニ何レモ他ノ振合ニ習ヒテ已ムヲ得サルニ出ツルモノモアラント認メラル依テ町村ニ於テ相當規約ヲ設ケ一齊ニ廢止シ入營壯行會ハ氏神ノ神前ニ於テ一盞ノ神酒ヲ汲ミ送別ノ式トナス等神聖質素ニ舉行スル様措置ヲ望ム

入營ノ際ニ於ケル服裝ノ件

一 入營ニ際シ絹布ノ晴衣ヲ着スル者多キヲ見受ク是等ハ特ニ新調セル向アル哉ニ聞及ハレ甚タ不經濟ナルノミナラス女々敷コトニ屬スレバ綿服羽織帶ニ一定セシムルハ各位ノ盡力ニ俟チ實行ヲ望ム

徵兵受檢紀念事業ニ關スル件

一 徵兵受檢者ハ紀念トシテ植樹養雞貯金勞銀寄附等各自擇フ所ニ依リ實行ノコトヲ本年徵兵檢査ノ際聯隊區司令官ノ勸誘ニ依リ略決定セル趣ナリ然ルニ本年秋季ニ於テハ御即位ノ大典ヲ行ハサセラル、最モ光榮アル年次ニ於テ如上紀念事業ヲ企ツルハ適切有利ナル舉ト認メラル、ニ依リ各位ハ之レカ督勵監視ニ

ナラレ其事業ノ種類實行時期等取極シメ其結果來月
末迄ニ申報セラレタシ

◎神職召集

六月一、二日ノ兩日郡内神職ヲ召集シ左ノ事項ニ關シ
訓示並注意スル所アリタリ

訓示事項

一、大典奉祝ニ關スル件
即位ノ禮及大嘗祭ハ本年十一月ヲ以テ行ハセラルコト
ニ御内定アラセラル

コノ國家最高ノ大典ヲ奉祝スルニ當リテハ國民齊シク
滿腔ノ赤誠ヲ披瀝シ敬虔ノ誠意ヲ捧ケ忠愛ノ至情ヲ發
露スヘキハ固ヨリ言ヲ俟タス

謹ミテ按スルニ即位ノ禮ハ、聖上御踐祚ノ後日ヲ定メ
儀ヲ整ヘテ萬世一系ノ、皇位ニ即カセラレタルコトヲ
皇祖皇宗ニ親告セラレ竝一般臣民ニ宣誥セラルハ、ノ大
典ニシテ大嘗祭ハ、御即位ノ後始メテ親シク新穀ヲ以
テ、皇祖及天神地祇ヲ請饗セラレ且御自カラモ聞シ食
ス所ノ大祀タリ故ヲ以テ各位ハ今ヨリコノ次第ヲ一般
ニ周知徹底セシメ町村當事者ト協力一致シ崇高端嚴ヲ
ル大典ヲシテ長ヘニ光輝アラシメ邦家ノ進運ニ努力セ

込ナリ而シテ是等祭祀タル國民共通ノ公祭タルヲ以テ
各位ハ今ヨリ力ヲ之レカ準備ニ效シテ遺漏ナキヲ期ス
ヘシ

注意事項

一、紀念事項ニ關スル件

大禮ヲ永遠ニ紀念センカ爲メ神社ニ於テ紀念事業ヲ企
ツルハ最モ機宜ニ適シタルノ舉ナリト認ム而シテ本件
ニ關シ既ニ着手ノ向ハ益其完成維持ニ努メ未タ計劃ノ
熟セサルモノ又ハ着手セザルモノニアリテハ神社ノ由
緒並神殿ノ修造境内ノ整理防火設備ノ完成其ノ他神社
ニ適應セル施設ニ就テ其ノ永久的ナルヲ選ムヘシ尤モ
之レカ爲メ氏子崇敬者等ニ多額ノ負擔ヲナサシムルガ
如キハ穩當ナラズ留意スヘシ

二、會計ニ關スル件

イ) 神社ノ收支豫算並ニ決算ハ氏子若クハ崇敬者總代ニ
一任スベキモノニアラス之レガ編成並ニ執行ハ神職
ノ當然執ルベキ事務ナレバ如斯弊ナキ様注意スベシ
ロ) 神社ノ收支豫算並ニ決算ノ様式ハ甚ダ簡單ナレバ之
レカ報告並ニ提出ニ當リテ遅延スルノ理由ナシ然ル
ニ數回照復ヲ重マルモ尙提出セザルモノアリ是等ハ

ラルヘシ

二、神社崇敬並明治神宮御造營ニ關スル件

神社ハ建國ノ由來ニ基キ國體ト密接ノ關係ヲ有シ國民
學ツテ崇敬ノ誠意ヲ致スヘキハ更ニ言ヲ俟タザル所ニ
シテ近時神社ヲ尊重スルノ風一般ニ高マレルハ各位ノ
熱誠與テ力アル所ニシテ甚ダ欣フヘキ事ニ屬ス殊ニ大
禮ヲ行ハセラル本年ニ際シ一層祭祀ヲ鄭重ニシ皇運ノ
際昌ヲ奉祝スヘキハ勿論此機會ヲ以テ我國體ノ淵源及
大禮ノ次第ヲ一般ニ周知徹底セシメ神社カ皇室並國家
ニ甚深ノ關係ヲ有スルコトヲ知得セシメ國民ヲシテ益
神社崇敬ノ念ヲ篤カラシメンコトヲ努メラルヘシ
明治神宮ノ御造營ハ今正ニ其工ヲ創ムルノ時ニ在リ政
府ハ、聖旨ヲ奉體シ朝野ノ宿望ニ負カサルヲ期シ之カ
經營ニ關シテ百方苦心ヲ累ネラレツ、アリ各位能ク之
ノ意ヲ諒トシ本事業ノ完成ヲ翼賛センコトヲ望ム

三、大禮ニ付祭祀ニ關スル件

今般大禮ニ際シ神宮ヲ始メ官國幣社ニ在テハ大嘗祭ノ
當日奉幣ノ爲勅使ヲ差遣セラレテ大祭ヲ行ヒ又、御即
位ノ當日ハ特ニ中祭ヲ行ハレムトス府縣社以下神社ニ
就テモ亦之ニ準シ祭祀ヲ執行スルコトニ定メラル、見

事務怠慢ノ結果ニ外ナラスト認ム注意スベシ

ハ) 賽錢初穂料ノ額決算ト豫算ト同一ノ高ヲ計上シアル
モノアリ如斯ハ會計ノ整理ニ疑ナキニアラス公私ノ

混淆ナキ様注意スヘシ

ニ) 神饌幣帛料ノ供進ヲ受ケシ神社ニシテ往々供進額ヨ
リ少キ支出ヲナスノ向アルモ必ス供進ヲ受ケタル額
以上ヲ支出スヘキモノトス注意スベシ

以上ノ外神社ノ會計ニ關シテハ遺漏甚ダ多シ相當注意
スヘシ

三、基本財産ニ關スル件

イ) 神社ノ基本財産ハ固ヨリ其ノ額ノ多キヲ望ム所ナレ
トモ之レカ増殖ヲ圖ラシカ爲メ個人貸付ヲナシ往々回
收不可能ノ状態ニ立チ到リタルモノアルヤニ聞ク各
位ハ平素ヨリ基本財産ノ増殖ニ意ヲ致スト共ニ之レ
カ管理ニ關シテ慎重ナル注意ヲ拂ヒ遺漏ナキヲ期セ
ラルヘシ既ニ回收不可能ノ状態ニアルモノニ對シテ
ハ速ニ善後策ヲ講スベシ

又維持規程中個人貸付ノ條項ヲ設ケ居ルモノハ財産
ノ充實スルニ伴ヒ之レカ改正ヲ爲スヘシ

ロ) 基本財産額ニシテ百圓以上ニ達シタルトキハ証券ノ

購入ヲ爲シ百圓以下ノ額ニアリテハ確實ナリ銀行若クハ郵便官署ニ預入ルヘシ

(ニ)神職ニシテ往々多額ノ金ヲ手許ニ保管スルモノアリ盜難其他ノ災害ノ虞アルノミナラス財産ノ運用上適當ナル措置ト云フヲ得ス注意スヘシ

四、財産登録ニ關スル件

神社ニ於テ財産ヲ收得處分シタルトキハ之レカ登録及抹消ヲ爲スヘキ筈ナルニ往々等閑ニ附スルノ向アリ注意スヘシ

五、神社境内取締ニ關スル件

神社境内ノ風致保持ニ關シテハ各位ノ留意セラル所ナリト信スルモ往々小兒或ハ牛馬ノ蹂躪ニ任セ或ハ甚シキニ至リテハ肥料糞其他ノ不潔物品ヲ積推スルモノアリ是等ハ境内ノ風致ヲ保持スルニ注意ノ周到ナラサルヲ表示スルノミナラス神社ノ尊嚴ヲ瀆スノ虞アリ嚴重取締ヲ望ム

六、神社ヨリ發スル文書ニ關スル件

神社ヨリ發スル文書ハ甚タ不完全ナルモノ多シ是等ハ關係法規ニ迂遠ノ致ス所ナレハ平素ヨリ法令研究ヲナシ遺漏ナキ様注意スヘシ

モノトス

本會ニ要スル費用ハ會員ノ負擔トス
當リ役員ニ委囑又ハ選舉セラレタルモノ左ノ如シ

- 會長 榎 俊 治
- 幹事 山田 正 路
- 大井 音 一
- 井上 麻 左 雄
- 全 金 田 金 正
- 全 鈴 木 岩 人
- 全 田 村 繁 行
- 全 長 山 曠 之 進
- 全 陽 冬 藏
- 全 書 記

◎斯民大會出品物

六月十二、三ノ兩日柳井町ニ於テ開催サレタル斯民大會へ本郡ヨリ出品セルモノ左ノ如シ

- 一 萩町明倫館ノ記
- 一 全 寫 眞
- 一 萩町ノ慈惠事業ト道路修繕
- 一 萩町特種部落ノ改善
- 一 萩町獎善事業ト被表彰者

諮問事項

敬神志想ノ普及發達セシムルニ適切ナル方法ヲ問フ
(六月末日迄ニ答申ノコト)

◎阿武郡神職會

六月一、二ノ兩日郡長召集ノ機會ニ於テ阿武郡神職會ヲ開催シ規約ノ改正並ニ役員ノ改選ヲナセリ

阿武郡神職會規約

- 一本會ハ本郡内ノ神職ヲ以テ組織シ阿武郡神職會ト稱ス
- 二本會ハ會員ノ意思氣脈ヲ疏通スルヲ以テ目的トス
- 三本會ニ左ノ役員ヲ設ク
 - 會長 一名 幹事 六名 書記 貳名
- 四會長ハ阿武郡長ヲ推戴スルヲ例トス
- 幹事六名ノ内二名ハ郡書記ニ委囑シ四名ハ各部ヨリ一名宛選出スルモノトス
- 其任期ハ三ケ年トス
- 但シ内三名ハ專務幹事トシ内貳名ハ郡書記一名ハ西部ノ幹事ヲ以テ之ニ充ツ
- 書記貳名ハ會員ヨリ選舉シ其ノ任期ハ三ケ年トス
- 五第二項ノ目的ヲ達スル爲メ毎年一回(五月)會合スル

一 萩町ノ特別教育

- 一 松陰神社創立由來及寫眞
- 一 椿郷東分村香川津孝子傳
- 一 全 石碑移築ノ由來
- 一 全 二孝子石碑寫眞
- 一 松下村塾ノ寫眞
- 一 松陰先生米搗臼寫眞
- 一 松陰先生關係繪葉書、肖像、志云々ノ書、こゝろあれやノ歌
- 一 鶴江浦貯金成績表及寫眞
- 一 椿村耕地整理成績概要及掛圖
- 一 椿村都波岐神苑沿革及寫眞
- 一 椿村涙松遺趾ノ石碑建設由來及寫眞
- 一 三見村柴草場整理
- 一 明木村報國蠶業組合一覽
- 一 全 信用組合一覽
- 一 全 明木圖書館一覽及寫眞
- 一 佐々並村信用組合事業成績
- 一 川上村ノ林業及其ノ寫眞
- 一 川上村ノ養蠶業

- 一 地福村林野ノ整理及全圖
- 一 德佐村定期家畜市場
- 一 同村有林施業成績
- 一 福川村回生會概要
- 一 大井村信用購買販賣生產組合ノ事績
- 一 大井村郷土誌
- 一 福賀村宇生賀耕地整理組合ノ情况及掛圖
- 一 須佐村赤島築港
- 一 須佐浦漁業組合
- 一 須佐浦寫真其他ノ掛圖
- 一 彌富村柴草場整理
- 一 村有林施業狀況
- 一 小川村郷土誌
- 一 郡立實科高等女學校一覽及寫真
- 一 郡立圖書館沿革及概況書及寫真
- 一 見島村負債整理沿革
- 一 同 累年償還比較表
- 一 共同一致ノ歌

◎地方改良講演會

內務省囑託國府種徳ハ地方改良並大典奉祝ト題シ六月

十四日須佐村、六月十六日萩町ニ於テ有益ナル講演ヲナシタリ

◎御大典ヲ因ミ私ヲ營ムモノ取締ノ件

ニ關シ左ノ通通牒ヲ發シタリ

今年秋冬ノ候ニ行ハセラル御大典ニ因ミ記念事業其他各種ノ計劃ヲナシ勸誘員ヲ派シ又ハ文書ヲ以テ勸誘ヲ試ムル者追々簇出其多クハ美名ヲ藉リテ私ヲ營ムニ過キサル儀ニ付容易ニ其甘言ニ乗セサル様町村民ニ徹底方可然御取計相成度此段及通通牒候也

◎地方貸付資金供給ニ關スル件ニ付左ノ通通牒セリ

地方公共團體ニ對スル地方貸付資金ハ政府財政上ノ都合ニ依リ供給中止相成候處本年度ニ於テ生産上最モ必要ナル事業費ニ限リ該資金ヲ供給セラル、コトニ決定左記條件ニ依リ貸付可相成等ニ有之就テハ普通水利組合ノ事業及他ノ地方公共團體ノ灌溉排水又ハ直接生産ニ關スル事業ニシテ緊急ヲ要シ右資金ノ供給ヲ受クヘキモノ有之候ハ、其ノ起債金額團體名事業ノ大要等本月廿七日迄ニ御回報相成度此段及通通牒候也

追テ供給希望之向ニ對スル稟請書提出方ニ付テハ更ニ可及通牒爲念申添候

記

- 一 普通水利組合及其他ノ地方公共團體ノ灌溉排水又ハ直接生産ニ關スル事業費ニ對スル供給總額ヲ五拾萬圓トス
- 一 二日本勸業銀行ノ貸付ニシテ一口貸付金額參萬圓以上ノモノハ之ヲ直接貸付トス參萬圓未濟ノモノハ農工銀行代理貸付トス但一口參萬圓以上ノモノト雖モ特別ノ事由アルトキハ內務大臣ノ認可ヲ得代理貸付ト爲スコトヲ得ルモノトス
- 一 三日本勸業銀行直接貸付ノ利率ハ年五分八厘農工銀行代理貸付ノ利率ハ參萬圓以上年五分八厘參萬圓未滿年六分參厘トス(年賦貸付ニ就テハ据置期)トモ同シ
- 一 四貸付ハ年賦又ハ定期トシ償還年限ハ年賦ハ本年度ヨリ向二十箇年以内(据置年間トモ)定期貸付ハ五箇年以内トス
- 一 五本資金ハ當該地方公共團體財務ノ狀態良好ニシテ回收ノ見込確定ナルモノニアラサレハ貸付クルコトヲ得ス

六日本勸業銀行ハ調査費ヲ徴收スルコトヲ得ス以上ノ外ハ從前ノ取扱手續(明治四十二年六月廿五日庶第四〇一三号通牒)ニ準シ取扱フ

◎神社昇格運動取締ノ件ニ付左ノ通通牒ヲ發セリ

神社昇格ノ件ニ關シテハ其規定ニ遵ヒ地方廳ノ具申ニ基キ診議セラルヘキ筋ノモノニシテ之ヲ診議上必要ナル事項ニ付キテハ總テ地方廳ヨリ本省へ申出ヘキ義ニ有之然ルニ昨今神社昇格ヲ出願スルニ際シ神職及氏子崇敬者惣代等神社關係ノ者自儘出京ノ上昇格運動ヲ爲ス者有之趣ノ處右ハ單リ規律上穩當ナラサルノミナラス日子及費用ヲ徒費スルカ爲メ累テ神社ニ及ホスコト可有之洵ニ遺憾ノ義ニ候條斯ル場合ニハ篤ト御注意相成度其筋ノ通通牒ニ依リ此段及移牒候也

◎條例ノ許可セラレタルモノ左ノ如シ

許可者 許可年月日 條例ノ種類 町 村 名
 內務大臣 五月廿七日 印鑑條例 須 佐 村
 ◎見島村共同負債償還ノ經過概略

抑々本島共同負債ノ起因ハ今ヲ距ル三十餘年前即チ明治七八年乃至十六七年ノ交隔年又ハ連年早損風害頻ニ臻リ爲ニ島民各自衣食ニ窮乏ヲ來シタルニ遠因スレモ一面ヨリ仔細ニ之ヲ觀察スレハ世ノ風潮ニ伴ヒ漸次奢侈ニ移リタル結果ニ外ナラス是カ爲メ流資涸渴シテ島内ノ融通チ欠クニ至リ裁地其他ニ於テ百方債主ヲ索メ其ノ高歩ノ利息ト不當ノ手数料トヲ顧ルニ邁ナク各自不相應ノ借財ヲ釀シタリ爲メニ本島經濟上ニ一大凶荒ヲ來シ遂ニ全島ヲ擧ケテ他町村人ノ所有ニ歸セシメントスルノ悲境ニ陥リタ、於是明治十七年負債者一同協議ヲ擬シ任組方法ヲ設定シテ保護方ヲ其筋ヘ歎願セシテ以テ同年九月近藤本縣大書記官來島親シク視察ノ上恢復維持策ヲ畫セラレ、翌十八年二月全島田地悉皆ヲ擔保トシテ第十國立銀行ヨリ金貳萬圓ヲ利率八厘五微六ケ年賦償還ノ約定ニテ借入レ、外ニ萩町久保田庄治郎ヨリ一時借入金壹千八百圓及ヒ負債者一同ノ積立金參千貳百四拾圓ヲ合セ計金貳萬五千四拾圓ヲ以テ島外ニ於ケル各自累年ノ負債ヲ夫々債權者ヘ支拂テ了レタリ從是各自負債ハ共同負債ト性質ヲ一變ス是レ即本島共同負債ノ發端ナリトス

然ルニ不幸ナル哉年賦償還ノ初年ナル十八年ヨリ廿年ニ亘リ早災風害交々臻リ大ニ穀菽ノ收穫ヲ減シ加之主トシテ負債償還ノ資ニ充ツヘキ米價ハ漸次下落ノ傾向ヲ來セシテ以テ遂ニ年賦償還ノ責務ヲ果スコト能ハス因是廿一年春、監督郡吏及債主ナル銀行員渡來嚴重ナル督促ノ末到底償還ノ見込立タサルニ依リ一時ニ殘額全部返金ヲ要求セラレ茲ニ全ク官ノ保護ヲ離レタリ於是廿二年四月負債者所有ノ田畑山林等合反別五百九拾七町四段六畝拾七步地價金貳萬六千五百五拾四圓七拾貳錢ノ地所チ年限賣渡即チ朱利付十ヶ年賦償還買戻約定ニテ金貳萬六千貳百圓ヲ萩町大岡與右衛門ヨリ借入レ、以テ第十國立銀行其他ノ負債ヲ償還セリ、斯クテ初年ノ廿二年ハ年賦償還ヲ完フセシガ翌年ハ又復早虫害ニ遇ヒテ豫定ノ償還ヲ爲スハ遂ニ苛酷ナル法廷沙汰ニマテ問ハレテ再ビ債主チ更フルノ餘儀ナキニ立到リ、負債者總代四方ニ奔走シテ金主ヲ索メ、擔保トシテ田畑山林其他合段別五百九拾八町八段七畝壹步地價貳萬六千八百八圓七拾八錢ノ地所チ年限賣渡即チ拾五ヶ年目買戻ノ契約而モ該地所ニ係ル租稅ハ總テ負債者ニ於テ負擔スルノ約定ヲ以テ金參萬五千圓ヲ島根縣鹿

足郡畑ヶ迫村堀禮造ヨリ借入レ以テ大岡與右衛門其他ノ負債ヲ返還セリ而シテ其償還方法ハ廿四年ヨリ三十八年ニ至ル十五ヶ年間毎年九朱利即チ金參千五百拾圓宛償還シ元金ハ据置ニシテ年々一定ノ額ヲ定メズ米穀豐饒ノ年ニ當リテ幾分宛ノ積立金ヲ爲シ置キ滿期ニ至リ悉皆償還スルノ豫算ナリキ然ルニ同年ヨリ翌年ニ亘リ負債者總代間ニ諸費差違事件起リ遂ニ一方ヨリ山口地方裁判所ヘ告訴シ豫審廷ノ取調ヲ受ケル者サヘ生スルニ至レリ斯クノ如キ混雜アリシヲ以テ少シモ負債償還ノ事ヲ顧ルモノナク、爲ニ兩年分ノ利子ハ無償還ノ儘徒ニ經過セリ、廿六年ハ早損風害並臻リ、廿七年ハ更ニ一層ノ大旱魃ニ遭遇シ島民ノ困窮益々甚シク從ツテ又復兩年トモ償還金ノ取纏メヲナスニ由ナク債主ヨリ嚴重ナル督促ヲ受ケテ漸ク僅々六百六拾圓ヲ償還シタルノミ

レリ、於是負者一同協議ノ末債主ヘ懇願シテ同年十月迄ノ利子延滞金諸稅繰替金及訴訟費用等ヲ計上シ其總額壹萬貳千八百貳拾九圓參拾九錢貳厘ノ借増証書ヲ差入レテ漸ク假差押ノ解除ヲ得タリ、而シテ同年及翌廿九年ハ田畑トモ相應ノ產額ヲ得タルモ尙ホ償還ヲ完フスルヲ得ス且舊債殘額償還及雜費支辨ノ爲メ三十年五月最前ノ擔保ノ外更ニ郡村宅地五町六段八畝六步地價金四百拾六圓四錢建物貳百五棟ヲ書入レ以テ金五千八百圓ヲ九朱利付三十七年迄八ヶ年賦償還ノ契約ヲ以テ同債主ヨリ借入レタリ、然ルニ同年モ亦大旱害ニ罹リ爲ニ償還金ニ大不足ヲ生シ又復債主ヨリ嚴促ヲ蒙リ遂ニ三十一年十月ニ至リ廿八年及三十年兩度ノ借増金及償還延滞金貳萬貳千參百九拾九圓六拾錢ヲ計上シ同年ヨリ三十八年ニ至ル八ヶ年賦九朱利付償還ノ契約ヲ改定スルノ已ムヲ得サルニ立到レリ、於是堀禮造ニ對スル最前ノ借入金元利並借増金及償還延滞金ヲ合スルハ三十一年末仕詰ハ實ニ六萬五百四拾九圓六拾錢ヲ算スルニ至リ負債者一同益々困難ノ度ヲ高メ、人氣大ニ萎靡シテ殆ト其堵ニ安ニスル者ナシ、若斯ノ狀態ニテ推移シタランニハ必スヤ數年ノ後、年限賣渡ノ地所ハ

未ク掘禮造ノ所有ト確定スルノ外ナキ狀況ナリキ
 三十二年十月郡書記中道毅一ヲ駐在セシム、越エテ三
 十三年一月共同負債者總代、組長、世話係三十三名ノ連
 署ヲ以テ償還事務ノ監督ヲ懇囑セシテ以テ一意救濟方
 法ヲ講シ、茲ニ年々償還ノ端緒ヲ開ケリ爾後極力償還
 ニ努メ三十八年ヲ以テ曩日ノ借増金及延滞金ハ悉皆償
 還ナ了セリ、依テ三十年五月擔保トシテ書入レタル郡
 村宅地段別五町六段八畝六步建物貳百五棟ノ返還ヲ得
 負債者一同聊カ愁眉ヲ開キタリ然レモ多年ノ巨債豫定
 年限内ニ完償スベクモアラス依テ債主へ交渉ヲ遂ケ三
 十九年一月殘元金參萬五千圓ニ對シ四十二年迄償還延
 期ノ改約ヲナシタレモ尙ホ同年中ニ完償覺束ナキヲ以
 テ四十二年七月再債主へ交渉シテ四十四年十二月迄償
 還延期ノ承諾ヲ得遂ニ同年八月ニ至リ殘債元利息皆償
 還ナ了シ其後抵當地所買戻ニ關スル書類ノ調製ニ着手
 シ翌四十五年三月九日ヲ以テ田畑、山林、宅地等合段
 別五百九拾九町八畝拾壹步地價貳萬六千參百八拾圓五
 拾錢ノ地所買戻ニ關スル登記濟証書ヲ裁區裁判所ヨリ
 受領シ茲ニ愈々本島ヲ恢復シタリ
 願レハ明治十八年貳萬餘圓ノ共同負債ヲ起シテヨリ四

十四年全部償還ナ了スルニ至ルマテ年ヲ閱スルコト廿
 有七償還金額正ニ拾貳萬六千九百拾八圓八拾壹錢壹厘
 ニシテ之ニ雜費ヲ加算スルホハ實ニ拾參萬七千五百參
 拾九圓六拾壹錢貳厘ノ巨額ニ達セリ
 要之此ノ共同負債ハ當初共同一致ヲ以テ起リタルモノ
 ナルモ前半十四年間ハ其實蹟甚ダ學ラス而モ債務者間
 ニ内訌サヘ生シ爲ニ連年償還延滞シ重利又重利遂ニ債
 務ヲシテ巨大ノ額ニ達セシメ殆ト償還整理ノ期ナキニ
 至ラシメタリ中道毅一赴任以來、島民大ニ覺醒シ共同
 一致ノ精神ヲ回復シ來リテ遂ニ今日ノ成果ヲ見ルニ至
 レリ



町村基本財産調査表

大正四年三月三十一日現在

阿武郡

町村名	土地		所有地 他人/土地	林	建物	有価証券	現金	預金	貨附金	現在	計	石炭	穀類	其他	積戻
	面積	価格													
町
春郷東分村
山田村
三見村
明木村
佐々並村
川上村
篠生村
生雲村
地福村
徳佐村
嘉年村
高俣村
吉部村
福川村
崇福村
大井村
奈古村
宇田郷村
福賀村
須佐村
彌富村
小川村
田万崎村
六島村
見島村
計

備考 本表中▲印ハ特別基本財産ナリ

◎學校基本財産調査表

大正四年三月三十一日現在

町村名	土地		建造		林	建物	有価証券	債券	現金		穀類	其他	積戻元金額	
	面積	價格	反別價格	反別價格					貸附金	現在金				計
町村名	面積	價格	反別價格	反別價格	林	建物	有価証券	債券	現金	計	石數	價格	價格	積戻元金額
萩町	10	10	10	10										
椿村	5	19	5	19										
山田村														
三見村														
明木村														
佐々並村														
川上村														
篠生村														
生雲村														
地福村														
徳佐村														
嘉年村														
高俣村														
吉部村														
福川村														
紫福村														
大井村														
奈古村														
宇田郷村														
福賀村														
須佐村														
彌富村														
小川村														
田万崎村														
六島村														
見島村														
計														

大正四年三月三十一日現在

◎前期縣稅納稅成績

大正四年度前期縣稅納稅ノ成績ハ前年度前期ニ比シ大差ナキモ人員ニ於テ百人ニ付〇、〇九人金額ニ於テ百圓ニ付貳拾壹錢貳厘ノ滯納ヲ増加セリ今各地ノ狀況ヲ觀察スルニ萩地方ハ夏橙災害ニ伴フモノ他地方ハ米價低落ニ伴フ失職者多キモ滯納ハ強チ之ニ基因スルモノトハ認メ難ク大ニ町村當局者督勵ノ如何ニ依ルモノ、如キ感アリ又前年度ニアリテハ全部完納ハ三見、明木、

大正四年度前期縣稅納稅比較表

(數字ノ上ニ△ヲ冠スハ滯納者ノ減少セルヲ示ス)

町村名	大正四年度前期			大正三年度前期			滯納歩合 前年度比較
	人員	稅額	滯納歩合(百分比)	人員	稅額	滯納歩合(百分比)	
萩	八、六七六	六、〇三七、九四五	二八一、二七〇	九、三三六	六、九一〇、九六五	三、七四三、五四七	△〇、五〇、〇五
藩郷東分	四、八一六	三、四九九、四六五	六七、四九、七六〇	四、九五二	三、七〇八、八二〇	一〇、一、五五、〇六〇	△〇、六五、〇六三
椿	一、八九九	一、五三一、六三五	一四、九、四八〇	二、〇一一	一、七〇二、四三五	六、三、七〇〇	〇、四四、〇、四〇二
山田	二、五九〇	一、八九九、四三五	七〇、四三、五四〇	二、六〇八	二、〇一四、八〇五	一〇、三、五〇、八七五	▲一、二五、一九八六
三見	一、九七二	一、四三〇、八九五	一〇〇、〇、〇〇〇	一、九七〇	一、四五九、七四五	三、九、〇、二、五〇	〇、〇、〇〇八
明木	一、八六一	一、四五一、一六五	一〇〇、〇、〇〇〇	一、九二七	一、五五四、五三五	一、〇、〇、〇〇〇	〇、〇、〇〇〇
佐々並	一、八五〇	一、五二一、一六五	一〇〇、〇、〇〇〇	六、九二七	一、五七九、三九五	一、〇、〇、〇〇〇	〇、〇、〇〇〇
川上	二、九二五	一、六四八、一四〇	三、一、五四〇	二、〇六五	一、六七八、四五五	〇、〇、〇、〇九三	〇、一〇、〇、〇九三

合	見	六	田	小	彌	須	福	宇	奈	大	紫	福	吉	高	嘉	德	地	生	篠
計	島	島	万	川	富	佐	賀	田	古	井	福	川	部	侯	年	佐	福	雲	生
七、一五	一、二六	一、一七	二、八六	三、四九	一、九六	四、九三	二、一六	一、五七	二、五九	二、〇六	二、〇三	三、二二	一、九五	一、七八	一、六一	三、九七	二、二六	二、八五	一、八四
五、三三	六九〇、三九五	七三四、九三五	二、一八三、〇七五	二、五五九、二六〇	一、四三一、一三五	二、五四七、五〇〇	一、六七八、五〇〇	一、一六〇、八六五	一、八六八、四三五	一、六五九、八八〇	一、八九五、三〇五	二、四六七、六五五	一、五二七、七〇五	一、四四二、五七〇	一、四〇三、三三〇	三、五四二、四六五	一、八六四、八三五	二、二七、四五〇	一、三九八、〇五五
八、九一			七〇、四七、二五	一六、八、四五〇	二六、九、〇七〇	四六、三四、二五〇	二八、一九、二五五	二、一、五〇〇	三六、二五、九七〇	一三、四、五八〇	二二、一五、七二五	六、一、六五〇	三九、五五、二八〇	四〇、三六、八五五	二九、二〇、一四五	五、三、七三〇	九、四、三三〇	二二、三三、四三〇	四三、三二、二一〇
二、五			二、四三	〇、四六	〇、一三	〇、九三	〇、一九	〇、三	一、四六	〇、六三	〇、一八	〇、一九	二、二四	二、五五	一、八〇	〇、一三	〇、三九	〇、八一	二、三四
一、二三			二、一六	〇、三三	〇、六四	一、三四	一、一四	〇、二九	一、三六	〇、二七	〇、八二	〇、六七	三、六八	二、五五	一、四三	〇、一五	〇、二二	一、〇〇	二、三三
一、二四			二、九四	三、四六	二、〇五	三、九一	二、二〇	一、五〇	二、六二	二、〇五	一、九四	三、二〇	二、〇一	一、八三	一、六四	四、〇七	二、二七	二、八五	一、八三七
七、七五			二、二七	二、六二	一、四三	二、六六	一、七三	一、二四	一、九四	一、六九	一、九六	二、五三	一、六〇	一、四九	一、四三	三、六八	一、九二	二、二一	一、三六五
〇、三九			二、九四	二、五九	一、三三	二、六六	一、七四	二、〇七	一、九四	一、六八	一、九七	二、四八	一、五〇	一、二七	一、四三	四、〇七	一、九二	二、八五	一、八三五
〇、二二			〇、七九	〇、一六	〇、三四	〇、五三	〇、二七	〇、一三	〇、三三	〇、三四	〇、四一	〇、四七	〇、五〇	〇、四一	〇、七二	〇、二二	〇、六七	〇、六六	〇、六四
〇、〇九			一、三六	〇、三三	〇、九八	〇、三九	〇、三〇	〇、〇九	〇、〇九	〇、二九	〇、四〇	〇、三六	〇、五七	一、一八	〇、五八	〇、一三	〇、一七	〇、一四	〇、六六
〇、二二			一、三六	〇、一六	〇、四一	〇、八二	〇、二四	〇、〇一	〇、三九	〇、三九	〇、二二	〇、二二	一、四三	一、二〇	一、〇九	〇、一五	〇、一七	〇、一四	一、五八

衛生

盆中ニ蛇アリ

郡設看護婦講習會

五月一日ヨリ開設セル郡設看護婦講習會ハ五月卅日終了式ヲ舉行シ講習生中一名ノ成績者ヲ除キ五十五名ニ對シ卒業證書ヲ授與シ郡長警察署長ノ訓示スル所アリタリ

大正四年傳染病患者發生數

赤痢	全疑似陽室扶	全疑似	チブテ	猩紅熱
六		七	一	一
		二	一	
		三	二	
		四	三	
		五	二	

小	福	宇	奈	大	紫	福	吉	高	嘉	德	地	生
川	賀	田	古	井	福	川	部	侯	年	佐	福	雲
七												
一												
三	一	一	一	二	一	七						
一												
〇												
六	一	一				二						
一												

教育

一人ノ教師ハ二冊ノ書ニ優ル

阿武部教育會主催夏期講習會及教育品展覽

本年夏期休業中開催セラルベキ本郡教育會主催夏期講習會ハ八月二日ヨリ六日間明倫尋常高等小學校ニ於テ開催セラルベク科目ハ体操科ニシテ講師ハ東京高等師範學校教授永井道明氏ナリ尙同會開期中本郡小學校教員考案品展覽會ヲ開催スルコト、ナレリ會則左ノ如シ

第二回阿武郡教育會主催教育品展覽會規則

第一條 本會ハ本郡小學校ニ於ケル教授訓練ニ關スル意見及考案品ヲ蒐集シ比較研鑽シテ斯道ノ改善ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ本年八月三日ヨリ五日間阿武郡明倫尋常高等小學校ニ於テ開催ス

第三條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長一名 幹事三名 審査長一名
審査員四名 事務員若干名

第四條 會長ハ本郡教育會會長之ニ當リ會務ヲ統理シ幹事ハ本郡教育會幹事長及幹事之ニ當リ會長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ處理ス

第五條 審査長及審査員ハ會長之ヲ囑托シ審査ニ關スル事務ヲ處理ス

第六條 事務員ハ會長之ヲ囑托シ會務ヲ分掌ス

第十條 出品目錄ハ本年七月二十日迄ニ左ノ様式ニヨリ阿武郡教育會事務所(郡役所學務係)ニ宛テ差シ出スベシ但シ目錄ハ各類別ニ調製スベシ

(様式)

教育品展覽會出品目錄

番号	品名	個數	考案者	製作者

第十條 出品目錄ハ本年七月二十日迄ニ左ノ様式ニヨリ阿武郡教育會事務所(郡役所學務係)ニ宛テ差シ出スベシ但シ目錄ハ各類別ニ調製スベシ

第十一條 出品物ハ七月二十五日迄ニ阿武郡教育會事務所ニ送付スルモノトス

第十二條 陳列室ハ午前八時開場午後四時閉鎖ス

◎小學校兒童出席狀況

本郡ノ出席歩合ハ漸次良好ノ結果ヲ呈シ四月、五月ニ於ケル平均ハ何レモ九五、以上ニ達スルニ至レルヲ見ル之唯歩合ノ増加シタルノミナラズ一般ノ向學心ヲ喚起シ兒童ノ實力高メタルコト多大ナルベシ各校益々奮

第七條 出品部類ヲ左ノ通り區分ス

第一類 算術科ニ關スル書冊及考案品

第二類 地理科及歴史科ニ關スル書冊及考案品

第三類 農業科ニ關スル書冊及考案品

第四類 裁縫科ニ關スル書冊及考案品

第五類 教授細目及其ノ他ノ參考品

第八條 前條ノ第一類ヨリ第四類ニ至ル出品物ノ優秀ナルモノニ對シ審査ノ上褒狀ヲ授與ス

第九條 出品物ハ左ノ様式ニヨリ説明書及名札ヲ現品ニ添付スベシ(數個ノモノニシテ一組トナルモノハ各品ニ小名札ヲ添付スベシ)

用法及効用	發明由來	科目		考案者	製作者
		(地理科)	(地圖)		
		名	品	、、、、、	、、、、、
		何	某	、、、、、	、、、、、

(用紙ハ本會ヨリ配布ス)

勵シテ一層ノ好成绩ヲ擧ケラレシコトヲ望ム

阿武郡各小學校尋常科兒童出席歩合順位

大正四年四月分

學校名	出席百分例		男女合併出席百分比例	順位
	男	女		
野呂	九九、一四	九九、〇〇	九九、二六	一
椿西	九九、一八	九九、〇〇	九九、〇三	二
立野	九九、二七	九九、〇〇	九九、九八	三
明木	九九、三六	九九、〇〇	九九、三八	四
龜山	九九、六六	九九、八二	九九、二八	五
越濱	九九、八七	九九、五〇	九九、二五	六
長高	九九、〇七	九九、五六	九九、二三	七
川上	九九、〇〇	九九、五二	九九、九三	八
宇田	九九、一四	九九、二八	九九、七六	九

學校名	全		前月		本月	前月	順位
	女	男	女	男			
見島	八四	九一、七六	八八、一八	四二	四二	四一	九八、〇八
相島	八六	九五、三五	九〇、九一	四一	三五	三五	九七、一五
彌富	八九	九二、五五	九一、三五	四〇	三一	三一	九八、二二
大島	八七	九五、二八	九一、四四	三九	四二	四二	九七、七七
白水	九〇	九三、五八	九二、〇二	三八	四〇	四〇	九八、八二
藏目喜	八九	九三、八六	九二、〇六	三七	二二	二二	九八、八二
小川	八九	九六、五三	九二、八六	三六	三九	三九	九八、三一
嘉年	九三	九三、一七	九三、二四	三五	二六	二六	九八、五一
半田	九一	九五、四〇	九三、四〇	三四	三六	三六	九九、二六
木高	九七	九五、九三	九七、八四	一一	一一	一一	九七、四六
佐々並	九六	九七、七三	九六、六九	二〇	二五	二五	九七、一五
篠生	九七	九七、〇九	九六、八一	一九	三三	三三	九八、〇九
福田	九七	九七、八七	九六、八一	一八	一八	一八	九八、二八
福田	九七	九七、五三	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、〇九
越ヶ濱	九七	九七、七二	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、二二
明木	九七	九七、九二	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、九二
立野	九八	九八、五八	九七、八一	一六	一二	一二	九八、五八
椿西	九八	九八、三一	九七、八一	一五	一三	一三	九八、三一
長高	九八	九八、三一	九七、八一	一五	一三	一三	九八、三一
野呂	九八	九八、二六	九七、八一	一五	一三	一三	九八、二六
木高	九七	九七、八四	九六、六九	二〇	二五	二五	九七、八四
佐々並	九六	九六、七七	九五、五三	二一	二五	二五	九六、七七
篠生	九七	九七、〇九	九六、八一	一九	三三	三三	九七、〇九
福田	九七	九七、八七	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、八七
福田	九七	九七、五三	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、五三
越ヶ濱	九七	九七、七二	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、七二
明木	九七	九七、九二	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、九二
立野	九八	九八、五八	九七、八一	一六	一二	一二	九八、五八
椿西	九八	九八、三一	九七、八一	一五	一三	一三	九八、三一
長高	九八	九八、三一	九七、八一	一五	一三	一三	九八、三一
野呂	九八	九八、二六	九七、八一	一五	一三	一三	九八、二六

三七

學校名	全		前月		本月	前月	順位
	女	男	女	男			
佐々並	九五	九七、六一	九六、六三	二一	九	九	九一、五三
下小川	九七	九七、〇九	九六、六九	二〇	二五	二五	九六、三一
椿東	九六	九六、八〇	九六、八一	一九	三三	三三	九五、〇七
多磨	九六	九六、五七	九六、八一	一八	一八	一八	九三、二二
福川	九七	九七、一五	九七、一八	一七	一〇	一〇	九四、八七
篠目	九七	九七、七四	九七、二八	一六	一二	一二	九五、〇八
木間	九六	九六、五二	九七、三〇	一五	一三	一三	九三、二〇
徳佐	九八	九八、一八	九七、三四	一四	一六	一六	九六、六七
持坂	九七	九七、二一	九七、三九	一三	六	六	九五、〇五
三見	九八	九八、三六	九七、四八	一二	一七	一七	九六、七五
福田	九七	九七、五三	九七、七一	一一	二〇	二〇	九六、五三
紫福	九七	九七、八六	九七、七二	一〇	三二	三二	九五、八二
木高	九七	九七、八四	九六、六九	二〇	二五	二五	九七、八四
佐々並	九六	九六、七七	九五、五三	二一	二五	二五	九六、七七
篠生	九七	九七、〇九	九六、八一	一九	三三	三三	九七、〇九
福田	九七	九七、八七	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、八七
福田	九七	九七、五三	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、五三
越ヶ濱	九七	九七、七二	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、七二
明木	九七	九七、九二	九六、八一	一七	一〇	一〇	九七、九二
立野	九八	九八、五八	九七、八一	一六	一二	一二	九八、五八
椿西	九八	九八、三一	九七、八一	一五	一三	一三	九八、三一
長高	九八	九八、三一	九七、八一	一五	一三	一三	九八、三一
野呂	九八	九八、二六	九七、八一	一五	一三	一三	九八、二六

三

川上	椿東	下川	宇田	三見	龜山	生雲	篠目	紫福	德佐	持坂	多磨
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
九七、一四	九六、九八	九六、九八	九六、八五	九六、九二	九六、二七	九六、二五	九六、七三	九七、三〇	九五、七七	九五、八四	九六、四一
九七、一一	九六、九五	九六、八七	九六、八五	九六、七九	九六、七二	九六、六六	九六、六四	九六、六〇	九六、三四	九六、一五	九六、〇〇
一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四
八	一九	二〇	九	一二	五	二四	一六	一〇	一四	一三	一八
奈古	大井	明倫	鈴野	地福	上小	小川	嘉年	彌富	育英	吉部	藏目
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
九七、〇五	九四、九四	九五、二九	九五、四一	九六、五九	九三、九三	九四、二四	九四、二四	九六、三六	九〇、七六	九六、三六	九〇、二四
九五、九六	九五、七九	九五、三五	九五、一〇	九四、四五	九三、六四	九三、一五	九三、〇三	九二、八四	九二、六五	九二、一四	九一、八七
二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六
二七	二六	二九	二五	三一	二八	二八	三五	四〇	三〇	三二	三七

全 中部教員會長 須子五郎

試驗問題

尋常科第六學年 (一時間) 書キ方

天皇陛下勅使 皇大神宮參拜

尋常科第六學年 (一時間) 國語科

次ノ假名ヲ漢字ニ直セ

(一) ギイサン、ヤツサイ、ニギリメシ、クギ、トウチヤク、デンボウ、アサギ、メイヨ、ザンネン、チウモ

次ノ漢字ニ假名ヲ付ケヨ

(二) 烏帽子、養生、鋸、檜、花筵、熱海、蹴鞠、檣原、鱈、桁

次ノ意味ヲ問フ

(三) 過ぎたるは及ばざるが如し

(四) のみと言へどつち

半田	白水	高俣	相島	見島	大島
女男	女男	女男	女男	女男	女男
九五、六五	八八、七五	九二、五九	八七、二四	九三、四九	八六、一四
九一、八一	九〇、三七	八九、九九	八九、七七	八八、五六	八七、二〇
三七	三八	三九	四〇	四一	四二
三四	三八	三三	四一	四二	三九

總合計出席歩合 九五、二五 前月 九五、六八

◎小學校兒童實力調査

本年三月施行小學校兒童實力調査成績審査ノ結果左ノ如シ

- 調査委員
- 阿武郡東部教員會長 浦部 虎太
 - 全 西部教員會長 谷井 磯太郎
 - 全 南部教員會長 櫻井 民次郎
 - 全 北部教員會長 緒方 二郎

ヨ ケ カ ナ ナ カ タ カ									
ヨ ケ カ ナ ナ カ ラ ヒ									

高等科第二學年 (二時間)

算術科

(一) 或ル小學校生徒總數ハ五百四十七名ニシテ男生徒ハ女生徒ヨリモ三十五名多シト男女生徒數各何程ナルカ

甲乙丙丁ノ四種ノ標準ヲ定メ各種ノ何レニ屬スベキカヲ定メ左表ヲ調製ス

受験人員	甲	乙	丙	丁
女				
男				

一、讀方採点法

書取

一字ニ点ニシテ熟語ハ一字一字ニ採点ス略字ハ採点スルモ一点一劃ト雖ヒ誤リタルモノハ採点セス

一字ニテモ一熟字ニテモ二点トス

一項十點トス解釋ノ程度ニ應シ点數ヲ加減ス

平假名及片假名

各十點宛トス全部完全ナラザルモノハ採点セズ

受験人員	書取	讀方	解釋	假名	平均
------	----	----	----	----	----

式 答 男

(二) 甲ハ一日ニ十二里乙ハ一日ニ八里歩ムトシ乙ガ八日前ニ出發シタルトスレバ甲ハ何日ノ後追ヒ付クカ

式 答

(三) 農夫アリ其ノ所有ノ米ヲ八分ノ三ダケ賣リタルニハ十五錢殘レリ初メハ何俵ナリシカ

式 答

(四) 利率年五分半年毎ニ利ヲ元ニ入ルハトスレバ元金五百圓ニケ年間ノ元利合計何程ナルカ

式 答

(五) 五百四拾圓ヲ甲乙丙ノ三人ニ分ツニ甲ト乙トハ二ト三ト丙トハ四ト五トノ割合ニ分ダントス各何圓ナルカ

式 答

採点方法

一、部會長ハ其ノ學校職員又ハ他校ノ便利ナル範圍ニ於テ調査委員ヲ命シ左記ノ要項ニヨリ採点スルモノトス(調査費用トシテ金參圓支給セラル)

一、書キ方採点法

女	男

書取讀方解釋等各平均点數ヲノス

受験人員	四十點以下	四十一點以上五十點以下	五十一點以上六十點以下	六十一點以上七十點以下	七十一點以上八十點以下	八十一點以上九十點以下	九十點以上
女							
男							

一、算術採点法

式答各十點宛トス

式正シク答ノ正シカラザルモノハ採点スレドモ之ニ反スルモノハ採点セズ

位取リテ誤リタルモノハ二点半ヲ與フ

受験人員	○	十	二十	三十	四十	五十	六十	七十	八十	九十	百	平均
女												
男												

表ニ記載スル際ニ十五点ハ二十点ニ四捨五入ス
但シ平均点數ハ純得点ノ平均点數ヲ記載ス

備考

其ノ他調査ノ上ニ於テ教育上參考トナルベキ点ハ細
大漏レナク調査シ置クベシ

例ヘ書キ方ニ於テ墨ノ濃淡筆方、算術科ニ於ケル
數字ノ書キ方等

尙各部調査ノ結果ハ各部會長郡ニ集會シテ更ニ郡ノ全
体ヲ調査ス

讀方成績第一採点表 (尋六)

部名	受験人員	書取	讀方	解釋	假名	平均
東部	三二一	一九七	一〇、三	六、九	三、九	四〇、八
西部	八五八	二〇、二	八、七	三、四	六、二	三六、五
南部	二二一	二二、五	一三、六	四、一	二、八	四三、〇
北部	四〇三	一六、〇	七、五	六、六	二、八	三三、九
中部	二六九	一七、六	八、三	三、八	三、九	三三、六
計	二、〇八二	一九、二	九、七	五、〇	三、九	三七、八
備考	定	点	四〇、〇	二〇、〇	二〇、〇	一〇〇、〇
全	第二採点表	(尋六)				

「過ぎたことは思つてもだめ」ノ意味ニ答ヘタル者
約四十パーセント又全ク解シ得サリシ者三十パー
セント以上ニ及ベリ

(4) 第四問假名ヲ完全ニ書キ得タル者ハ二十パーセン
ト足ラズ就中其排列ヲ知ラサル者所謂劣等生ニ多
ク約百分ノ十五ヲ算シ其他ハア、ヤ、ワノ三行ヲ
混同シタル者ナリ、又「ワ井ウエチ」チ「ハ井、ハ
、」ヤイユエヨ「チ「ヤイユヘヨ」ト誤リタル小數
ノモノアリ

二、右欠点ト認ムル点ニ付救済方法トシテ左ノ諸項ヲ
舉ク

- (1) 第一問ノ結果ニ對シテハ類似文字ノ取扱ニ一層ノ
注意ヲ拂フヘキコト
- (2) 第二問前段ニ對シテハ假名付文字ハ地方的見地ノ
下ニ取捨シテ假名ヲ離シテ讀ミ得ル程度ニ練習ス
ヘキ必要ヲ認メ後段ノ如キ日用文字ニ對シテハ更
ニ反復練習シテ確實ニ習得セシムルコト
- (3) 第三問格言ノ解釋ニ對シテハ是等抽象的語句ノ兒
童ノ了得ニ苦ムモノナルコト其成績ニ顯著ナレバ
其解説引例ヲ適切ニシ反復玩味セシムルノ方法ヲ

四二

部名	受験人員	以下四十点	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十点以上
東部	三二一	一八六	四	二七	三三	二〇	一四	一六	一			
西部	八五八	四七七	一六	一一	七六	五三	二〇	一四				
南部	二二一	九七	三五	二七	一三	二五	一					
北部	四〇三	二七六	五〇	三六	一七	一六	四					
中部	二六九	一七六	四〇	二三	一六	六	四					
計	二、〇八二	一、二六	二五	二四	一六八	一〇七	五二					

尋六 國語科

一、成績概評

- (1) 第一問ニ於テハ釘チ針、譽チ學、註チ注ト誤リタ
ルモノ多ク又握飯ノ飯チ飲又ハ食ト誤リタルモノ
多シ
- (2) 第二問ニ於テ熱海、蹴鞠、鱈ハ通シテ正答シ得サ
ル者八十パーセントニ上リ又「養生」チ「ヨウセイ」
ト讀ミタルモノ約五十パーセント「柘」チ正答セシ
モノハ僅カニ三十パーセントニシテ本問題ノ不成
績ナリシハ主トシテ此數語ニアリ
- (3) 第三問「過ぎたるは及はざるか如し」ノ解釋ハ極メ
テ不成績ニシテ「過ぎ去つたことは追付れぬ」又ハ

講スヘシ
(4) 第四問中轉呼音ノ誤謬ハ之ヲ等閑ニ附ス可ラズ特
ニ各學年ノ綴方ヲ通シテ特ニ不斷ノ注意ヲ要ス

書方成績表

部名	總人員	書方成績表							
		甲	乙	丙	丁				
東部	三二一	三六	一〇、九	一三五	三六、〇	一六六	四七、八	一八	五、二
西部	七三三	九四	二、八	三三三	四六、九	二七三	三七、三	二二	三、〇
南部	一八一	三一	一七、一	八六	四七、五	五五	三〇、三	九	五、〇
北部	三六六	五	一五、三	一九七	五三、八	一〇三	二六、一	一〇	二、七
中部	二四六	四三	一七、五	一〇七	四三、五	八五	三四、六	一一	四、五
計	一、八七三	二六二	一四、〇	八五八	四三、八	六六二	三六、四	七〇	三、七

一、成績概評

- (1) 墨ノ濃淡及ヒ字行ノ排列ハ或ル三四校ヲ除クノ外
概シテ適當ナリ
- (2) 間架結構ニ比較的多クノ教授力ヲ費シ執筆及ヒ筆
意筆勢等ニ練習ノ不足セルヲ認ム或ル小數ノ學校
ノ成績特ニ良好ナルモノアルハ此間ノ消息ヲ説明
シテ餘リアリ

四三

(3) 誤字脱字及ヒ文字ノ顛倒セルモノ等ハ數ニ於テ多カラサルモ点割ヲ忽セニス可ヲサル本科ノ性質トシテ許容スヘカラサル所ナルベシ

二、右欠点ト認ムルモノニ付救済ノ方法トシテ左ノ諸項ヲ舉ク

- (1) 文字ノ基本トナルヘキ点割ヲ選ヒ常ニ練習セシムルコト
- (2) 執筆及姿勢ノ矯正ニ一層ノ注意ヲ拂フコト
- (3) 個人的訂正ヲ周到ニスルコト

算術科成績表 (其一)

部名	受験人員	点	点	点	点	点	点	点	平均点
東部	二四	一四	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
西部	二二	九	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
南部	八六	六	四	九	五	九	二	二	二
北部	一三	一〇	四	一五	九	二	一	一	一
中部	九三	一一	二	三	一〇	二	二	二	二
計	六五九	五〇	一六	一九	六〇	五	一六	五	三

算術科成績表 (其二)
(式答共ニ正シキモノ、數ヲ示セシモノ)

部名	受験人員	第一問	第二問	第三問	第四問	計
東部	二四	五	七	四	六	一五
西部	二二	三	二	四	三	一二
南部	八六	五	四	五	四	一八
北部	一三	六	四	七	五	二二
中部	九三	六	四	四	三	一七
計	六五九	三九	二九	三九	二六	一三三

一、成績概評

- (1) 算式中必要ナル單位ノ記名ヲサザルモノアリシコト
- (2) 單位ニ不要ノ記名ヲナセシモノアリシコト例ヘバ $8\text{H} \times 8\text{H} = 64\text{H}$ ノ如シ
- (3) 所要ノ括弧ヲ脱セシモノアリシコト例ヘバ $35A + 2 = 256A$ ノ如シ
- (4) 等號ヲ亂用セシモノアリシコト例ヘバ $8\text{H} \times 8 = 64\text{H}$ ノ如シ
- (5) 不要ノ等號ヲ附セシモノアリシコト例ヘバ $(547A + 35A) + 2 = 2$ ノ如シ

- (6) 記數法ノ亂雜ナルモノアリシコト
- (7) 第一問ニ於テ全ク題意ヲ誤リ男女ノ數ヲ反對ニ立式運算セシモノアリシコト
- (8) 第四問ニ於テ元利合計ノ率ヲ四乘算スベキヲ單ニ四乘セシモノ又ハ年利率ヲ二除セシテ立式セシモノアリシコト

二、救済法

- (1) 該科ノ初歩教授ニ一層ノ努力ヲ要スルコト
 - (2) 基本教材ヲ反覆練習スベキコト
 - (3) 學年ニ應ジ模式的思考問題ノ練習ヲナスベキコト
- 小學校兒童實力調査實施ニ關スル希望
- 實力調査ニハ一定ノ主義方針ノ確立ヲ要ス之ニ關スル希望條件ヲ左ニ列舉ス

一、學科目ノ撰擇

學科目ハ國語算術ノ二科目トシ便宜他ノ或一科目ヲ加フルヲ妨ケズ

二、問題撰擇標準

國語科讀方

- (1) 範圍當該學年ノ教科書中ニアル語句文章及其應用
- (2) 程度當該學年ニ要求スヘキ最低限度ノモノ

(3) 問題ノ種類

書取、讀方、解釋、語句語法ノ應用的短文、教材ノ内容發問

算術科

- (1) 範圍及程度
本部ニ於テ調査セル本科基本教材及其應用
- (2) 種類
計算ノ形式ヲ主トセルモノ
問題(立式計算)算術ノ基礎トナルヘキ定義理論ノ説明

思考ヲ主トセルモノ

問題(立式計算)算術ノ基礎トナルヘキ定義理論ノ説明

其他ノ學科目

範圍及程度國語科讀方ニ準ス

附

- 一、實力調査方針ハ豫メ各小學校ニ示シ置カレタキコト
- 二、各部會ニ於ケル調査委員ハ各村一名宛トシ其旅費ハ本部會主催ノ講習會出張旅費ニ相當スル金額ヲ郡費ヨリ支給相成リタキコト

◎壯丁教育狀況

本年度ノ壯丁ハ之ヲ前年ニ比較シテ言語動作ノ点ニ於テ一般ニ其成績良好ナルヲ認ムコトモ青年會等ニ於テ平素修養ノ結果ナルベク其ノ町村ノ名譽ヲ重シ自重ノ風アルヲ認ムルヲ得タルハ大ニ喜ブベキ現象ナリトス而モ往々町村ニ於テ服装華美ノ風アルモノ一ニナキニアラザルモ概シテ質朴ノ風アリ學力試験ノ際左記二三ノ事項ニ對シ試問セリ

- 一、教育勅語及戊申詔書ヲ見テ讀ミ得ルモノ
- 二、教育勅語及戊申詔書ノ御趣旨ノ重ナル点
- 三、内閣總理大臣、本縣知事本郡長ハ何人ナルカ
- 四、一坪ニ薛ク糶ノ量

右問題中一ニハ教育勅語及戊申詔書ガ如何ニ國民ニ徹底シ居ルカ、(三)議會解散、總選舉等ノ結果青年ノ社會

的事實問題ニ注目シ居ルカ、(四)現今農村ノ青年ハ研究

的ナルカヲ調査セントスルニアリ然ルニ其結果ハ頗ル意外ナル不成績ヲ表ハシ教育勅語及戊申詔書ノ御趣旨ヲ了解シタルモノハ頗ル僅少ナリ總理大臣ノ何人ナルカヲ知ラザルモノハ農村ノ青年ニ至ツテハ七八割ヲ占メタ一坪薛糶ノ量ハ正答セシモノ約一割ニ過ギズ、學科ハ國語科ハ其成績比較的良好ナルモ算術科ニ至リテハ頗ル不成績ナリ現今地方教育ノ一大急務ハ補習教育實施ノ方法ヲ研究シテ實社界的教育ヲ施スニアリ、然ラザレバ町村ニ於テ多額ノ費用ヲ投シ兒童自身ガ多クノ時間ト勞力ヲ費ヒシタル小學校教育ハ殆ンド水泡ニ歸セザルヲ得ズ村當局者及小學校教員諸君ノ研究ヲ望ム所以ナリ

大正四年度調

町村名	尋常二學年程度			尋常卒業程度			高等一學年程度			高等卒業程度			進學成績百學力分比	進學成績學力順位
	算術	國語	算術	國語	算術	國語	算術	國語	算術	國語				
山田	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三木	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明水	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
佐々	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
川上	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
篠生	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
生雲	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
地福	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
徳佐	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
嘉年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
高侯	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
吉部	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
福川	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
紫福	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大井	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
奈古	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
宇田	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
福郷	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
須賀	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

山田	尋常二學年程度			尋常卒業程度			高等一學年程度			高等卒業程度			進學成績百學力分比	進學成績學力順位
	算術	國語	算術	國語	算術	國語	算術	國語	算術	國語				
山田	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三木	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
明水	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
佐々	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
川上	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
篠生	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
生雲	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
地福	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
徳佐	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
嘉年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
高侯	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
吉部	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
福川	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
紫福	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大井	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
奈古	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
宇田	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
福郷	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
須賀	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

大隊及廣島各隊吳海兵團在隊將卒ノ慰問ヲ爲セリ

◎招魂祭

五月二日川上村在郷軍人分會主催トナリ後場招魂場内ニ於テ戰病死者ノ招魂祭ヲ執行シ式後別席ニ於テ瓶酒折詰ノ饗應ヲナセリ今其狀況ヲ記セバ左ノ如ク本郡役所ヨリハ三村郡書記參列セリ

參拜者
遺族、郡吏員、在郷軍人、村吏員、小學校教職員、
全兒童、有志者

式典
神佛兩式執行

餘興
角力、擊劍、銃劍術
當日ハ天氣晴朗ニシテ近郷ヨリ參集來觀スルモノ多ク盛會ナリキ

因ニ當日川上村在郷軍人分會ニ於テハ全所ニ於テ總會ヲ開催シ勅諭ノ捧讀式及諸般ノ報告ヲナシタリ

◎帝國在郷軍人會阿武郡聯合分會創立

本郡各町村分會ニ於テハ全郡統一上及會務進展上ノ利

ノ親交ヲ温メ一面地方尙武ノ氣風養成助長ニ資スル爲メ本秋季ヨリ實施ノコトヲ協議シ郡内ヲ八ヶ部ニ分テ

便ニ資スル爲メ夙ニ聯合分會ノ設立ニカメツ、アリシガ去五月二十日各町村分會長ハ郡會議事堂ニ集合シ諸般ノ協議會ヲ開キ各自意見ヲ吐露シ終テ聯合分會創設ノ事ヲ附議シタルニ滿員異議ナク創設ニ決シ續テ正副會長ノ互選並ニ理事ノ委囑等左記ノ通決定シ夫ヨリ聯合分會規約案ニ付討議審案ノ上決定セリ

- 會 長 退役歩兵中佐 内田 一心
副會長 豫備砲兵中佐 岸 彌 七
理 事 繩田誠記
全 三村庄吉

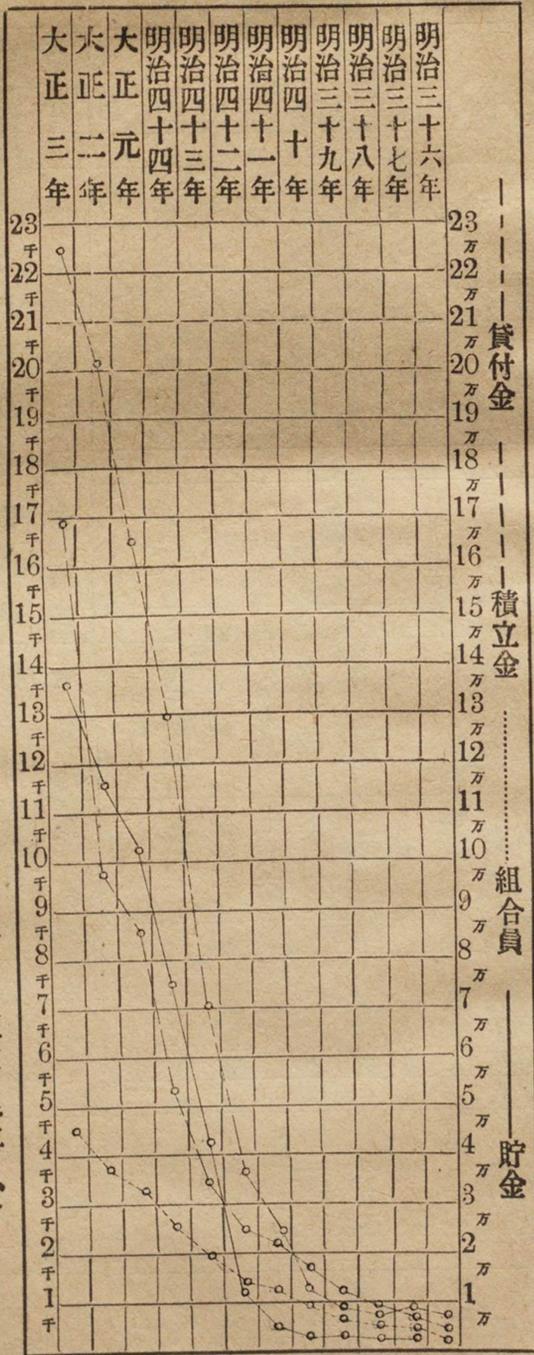
因ニ當日ハ恰モ小野田支部長徵兵検査ノ爲メ來郡中ニ付臨席セラレ分會ト支部トノ連繫上并ニ會務ノ打合及聯合會ノ創設ヲ見ルニ至レルハ諸氏ノ熱心ニ出テタル所謂會ノ愛護心ニ富マレタル現象ト見テ差支ナク定テ今後會ノ發展上資スルコト多大ニシテ有益ナルヲ信ス、益眞摯堅實ナランコトヲ望マレ其他各般ニ亘リ警告注意ヲ與ヘラレタリ

本郡ハ交通不便ナル爲メ全郡各會員ノ總會開設ハ事實上困難ナルニ依リ便宜最寄數町村聯合シテ共同の作業主トシテ射擊演習、銃劍術實施ヲ企テ傍ヲ各會員相互

◎産 業

事業ノ順序ノ整頓スルハ時間贏ヲルノ良法ナリ

◎信用組合狀況累年比較表



備考 一、貯金及貸付金ノ單位ハ壹萬圓積立金ノ單位ハ壹千圓組合員ノ單位ハ壹千人ナリ
二、大正三年末信用組合數二二ナリ

縣下ニ於ケル阿武郡内産業組合ノ地位

町村名	被面積	被害見込額	被害前收見込高	被害額	出資金		積立金		借入金		貯金		貸付金		販賣		購買		剩餘金	
					金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順
阿武	一九一〇	六三、四〇三	九、八八一	六二、二六三	一一六、五〇九	二二〇、三七四	二二、一〇八	六四、五七三	六四、五七三	二、九〇〇	五、二二〇	六四、五七三	六四、五七三	二、九〇〇	九、四一四	九、四一四	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
大津	一八一	一六、二七一	四、八六八	七、一四六	一四、一四七	八五、八三三	二、三二一	四、四六一	四、四六一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、四六一	四、四六一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
美禰	四四	三、二九〇	二、三三五	二、二六五	一、〇〇〇	六八、三七一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
豊浦	四六	五、九四九	一、〇三九	一、八二二	二、四八二	四二、〇七九	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
厚狹	二七	九、八五〇	一、六三二	一、五六一	七〇、五九二	八七、七六二	六、七五七	八、五五九	六、七五七	一、〇〇〇	一、〇〇〇	六、七五七	六、七五七	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
吉敷	三六	五三、〇五〇	六、九四五	三、五八三	一〇一、二八八	一〇一、〇七六	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	
佐波	五五	一〇、九六四	四、九三六	六、九三三	一〇、九六四	一〇、九六四	六、九三三	六、九三三	六、九三三	六、九三三	六、九三三	六、九三三	六、九三三	六、九三三	六、九三三	六、九三三	六、九三三	六、九三三	六、九三三	
都濃	二五	三、三三〇	一、六三九	一、九七三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
熊毛	四三	六、四二四	九、六〇四	六、五六一	二〇、六九七	二〇、六九七	三、六三五	三、六三五	三、六三五	三、六三五	三、六三五	三、六三五	三、六三五	三、六三五	三、六三五	三、六三五	三、六三五	三、六三五	三、六三五	
玖珂	四〇	二、四〇四	四、一八九	八、七六二	二七、〇四七	七四、七三六	一、五六一	一、五六一	一、五六一	一、五六一	一、五六一	一、五六一	一、五六一	一、五六一	一、五六一	一、五六一	一、五六一	一、五六一	一、五六一	
大島	二六	一、七六五	一、九五〇	四、三〇二	三九、〇三二	四七、九七一	一、二二	一、二二	一、二二	一、二二	一、二二	一、二二	一、二二	一、二二	一、二二	一、二二	一、二二	一、二二	一、二二	
歩合	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額	位順	金額

夏蜜柑風雪害調査

町村名	被害面積	被害見込額	被害前收見込高	被害額	歩合
萩	一三九	一三、二〇〇	八、四六二	一、二五五	九、五
椿郷東分	一三	一、七二〇	一、八七五	一、七二〇	九、五
山田	四〇	四、〇〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一〇〇

麥用堆肥製造量及改良堆肥場(大正三年分)

町村名	一戸當堆肥改良堆肥製造量	肥場數	町村名	一戸當堆肥改良堆肥製造量
三見	二〇、五〇〇	一五、九〇〇	奈古	一、八九四
川上	二〇、〇〇〇	四、〇〇〇	宇田郷	一、〇〇〇
大井	四〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	福賀	一、〇〇〇
須佐	三、〇〇〇	六〇七、五〇〇	須佐	一、〇〇〇
田方崎	一、九〇〇	六〇〇、〇〇〇	小川	一、〇〇〇
宇田郷	五、四五〇	一、三五〇、〇〇〇	須佐	一、〇〇〇
奈古	四七、二五二	二、二六、四五五	須佐	一、〇〇〇
合計	五三、七三二	一、九五、三二六	合計	一、八九四

紫雲英收量試験成績

阿武郡農會ニ於テ紫雲英收量試験ヲナセシ成績左ノ如シ

試驗地	反當收量	反當施肥料	試驗擔當者
奈古	六〇〇	二、五	田方崎
宇田郷	三三四	七、三	島島
福賀	一八八	二、九六	島島
須佐	五二七	五、〇	平均
小川	一、五〇七	八、一	前年
須佐	一、四四五	二、七	今年

春蠶收繭豫想

試驗地	反當收量	反當施肥料	試驗擔當者
嘉年村	九〇〇	過磷酸石灰拾貫、人糞	佐々木金治
椿郷	一、〇四四	過磷酸石灰拾貫、木灰拾貫	吉賀善吉
東分村	一、〇四四	過磷酸石灰拾貫、木灰拾貫	吉賀善吉
須佐村	一、一〇五	過磷酸石灰拾貫、木灰拾貫	村田正市

本年豫想	前年實收	本年豫想	前年實收
七九四	八〇三	一、〇〇一	一、〇四一

霜害ノ爲メ桑葉ノ不足ヲ生シ二割内外ノ蟻蠶ヲ掃棄
テタル村アリタルニヨリ前年ニ比シ減少セリ

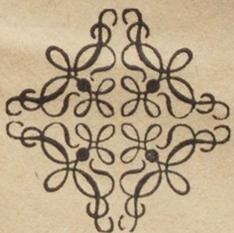
●麥收穫高豫想

本年豫想	前年實收	平年作	增加歩合
五〇、三〇 ^石	四二、七三 ^石	四六、七五 ^石	比前年ニシテ 比平年ニシテ
			二八 ^厘 一〇八 ^厘

●春蠶繭共同販賣狀況

町村名	販賣月日	數量	備考	
			最高價	最低價
大井村	六月十六日	三五九 ^匁	三六〇 ^匁	二五五 ^匁
宇田郷村	同月十七日	一八〇	三六五	二七二
須佐村	同月十八日	四	三五五	二五〇
小川村	同月十九日	三七	三〇五	二八五
同上原	同月二十日	五	三三	二九
同三明	同月十九日	七	三〇	二七
彌富村	同月十九日	三	三五	二七
地福村	同月廿一日	三	二二	三五

德佐村市 六月廿二日 三六〇 四〇八 二九五 三五六
同 神角 同月廿四日 三三〇 三六八 三三二 三五〇
高俣村 同月廿五日 六五 三九 三七六 三七六
右ノ外川上、明木、椿郷東分、福川、奈古、生雲、佐
々並ノ各村ニ於テモ共同販賣ヲナシタルカ郡役所ヨリ
立會セサルニヨリ狀況不明ナリ



大正四年七月十四日印刷
全 年 全 月 十五 日 發行

發行所 山口縣阿武郡役所

印刷所 株式会社萩響海館

山口縣阿武郡萩町第二千二百六番屋敷

